Ver.20230530

令和４(2022)年度

事業報告書
及び付属明細書

自　令和 ４(2022)年 ４ 月 １ 日

至　令和 ５(2023)年 ３ 月３１日

社会福祉法人　野洲市社会福祉協議会

目　　次

基本理念、基本方針、総括報告、重点事業　・・・・　２

【実施事業】
Ⅰ．ともに支えあう地域づくり　～市民の主体的な地域福祉活動の推進～

１．安心して暮らせる地域づくり　・・・・　３

２．地域の中の生きがい（役割）づくり　・・・・　１９

Ⅱ．地域生活を支える仕組みづくり　～安心して相談できる体制～

１．断らない相談支援体制づくり　・・・・　２９

２．必要な福祉サービスを届ける仕組みづくり　・・・・　３５

３．市民の権利を守る体制づくり　・・・・　４９

Ⅲ．分野や立場を超えた支えあいづくり　～多種多様なネットワークの構築～

・・・・　５０

Ⅳ．推進体制の充実・強化
１．会務の運営　・・・・　５３

※本報告書は、社会福祉法に規定する事業報告書及び事業報告書を補足する重要事項である付属明細書を「事業報告書及び付属明細書」として一体的に作成しています。

令和４(2022)年度 社会福祉法人 野洲市社会福祉協議会 事業報告

【基本理念】「すべての人が ともに生き ともに支えあう 安心して暮らせるまち やす」

【基本方針】「おたがいさま」と「少しのおせっかい」

【報告】

地域社会を取り巻く環境は、少子・高齢化、人口減少の進行、家族機能の変化、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、地域や家庭、職場など、住民の生活領域における支えあいや助けあいの基盤が弱まっており、住民や地域が抱える課題は、複雑・多様化しています。

さらにはウクライナ情勢等の国際秩序の不安定化、資源価格や消費物価の高騰などにより日常生活にも大きな影響を受けており、生活困窮、孤立や孤独などの複合的な課題を抱える人の増加など、様々な生活・福祉課題が表面化しています。

このような状況の中、本会では、国がすすめる地域共生社会の実現に向けて、野洲市と一体的に策定した「第３期地域福祉基本計画」の基本理念である『すべての人が ともに生き ともに支えあう 安心して暮せるまち やす』の実現に向けて、「おたがいさま」と「少しのおせっかい」の２つのキーワードを基本方針として、地域の多様なニーズや福祉課題に応えるため、地域住民やボランティア・福祉関係団体、市と連携協力しながら各事業に取り組んできました。

特に、地域の居場所づくりへの支援では、市内３箇所で不登校やひきこもり、高齢者の閉じこもり予防など、人が集うことで当事者や家族がその人らしい生活の送り方を見つけるきっかけづくりができる活動の中で、互いの困っていることや悩みを安心して話せる場が生まれ、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう地域住民が支えあい、一人ひとりの暮らしと生きがいを地域とともに創っていくことを実現する取組みができました。

また、本会の安定した健全経営を目指し策定した「第１次中長期経営計画」は、今年度が４年目となり、事業効果、効率性、地域ニーズを重視した経営への転換と組織基盤の強化など、計画に基づいた取組を推進しました。

【重点事業】

１．重層的支援体制整備事業

相談者の属性、世代、相談内容に関わらず、包括的に相談を受け止める体制を整えるため、市・関係機関等と連携して次の事業に取り組みました。

（１）地域における生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業
（２）参加支援事業
（３）地域づくり・アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

２．第１次中長期経営計画の推進

本会の目指すべき姿を明確に示した「第１次中長期経営計画」に基づき、計画を実行していくための組織ガバナンスの強化、経営基盤の確立に取り組みました。また、プロジェクトチームによる進行管理を行い、計画の検証を定期的に行いました。

３．学童保育所の健全運営

新型コロナウイルス感染症による感染拡大防止から、学童保育所の臨時閉所や活動の縮小などの活動となりましたが、放課後等での適切な遊び及び安心・安全な生活の場を提供し、児童の健全育成を図りました。

【実施事業】

Ⅰ．ともに支えあう地域づくり　～市民の主体的な地域福祉活動の推進～

近年では、支えあいや助けあいの仕組みが機能しにくい地域や、地域と関わる機会が少ない市民も増えています。また、各種団体においても構成員の固定化や高齢化、減少による弱体化などがみられ、次代を担う人材の育成が課題として挙げられます。

市民同士のコミュニケーションが円滑に図られ、良好な地域社会が形成できるよう、各種団体の活動をさらに活発にし、次代を担う人材を地域で育成できるよう各種事業を通して働きかけました。

１．安心して暮らせる地域づくり

（１）地域福祉活動の推進支援

□生活支援体制整備事業（第２層の取組）〔財源：市委託〕

生活支援コーディネーターが地域の実情にあわせ、住民主体の取組の活性化、地域全体で高齢者等を支える体制づくりを地域の方とともに進めました。

また、個別の課題から地域でも同じような課題を抱えている方が多いことを地域に働きかけ、地域で出来ることなどを自治会単位で話し合いの場を設け、地域ニーズや地域資源の把握などに取り組みました。

・生活支援コーディネーター　配置人員　3 名（中学校圏域に 1 名配置）

・関係機関（高齢福祉課・地域包括支援センター等）との連絡会議への参加（5 回／年）

・個別地域ケア会議への参加（34 回／年）

要支援１・要支援２、総合事業対象者の介護予防サービス・支援計画書原案に対して、自立に資したプランとなるよう、専門的な視点での助言・指導を行う会議において、生活支援コーディネーターとして出席し、地域資源の情報提供等を行いました。

・地域包括連絡会議への参加　2 月 10 日（金）

地域の資源開発･政策形成、関係機関のネットワーク構築を目的とした会議に参加しました。

･居宅介護支援事業所連絡会議での活動紹介　10 月 19 日（水）　参加者 21 名

介護支援専門員とともに「支えあいの地域づくり」～ケアマネと地域がつながるために～をテーマにグループワークを行いました。

地域の相談相手、相談先がわからない、地域の人に知られたくないという声が大半な反面、つながることができたケースは地域との役割分担を上手にされている事例もありました。

また、もっと地域の方に知ってもらわないといけないと思っているとの声もあり、地域とのつながりの重要性を強く感じておられることがわかりました。

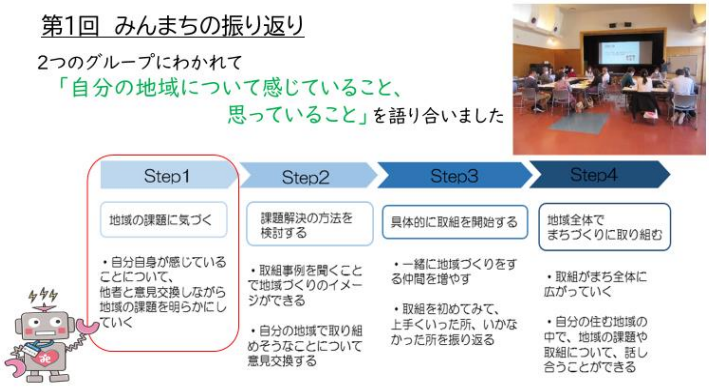
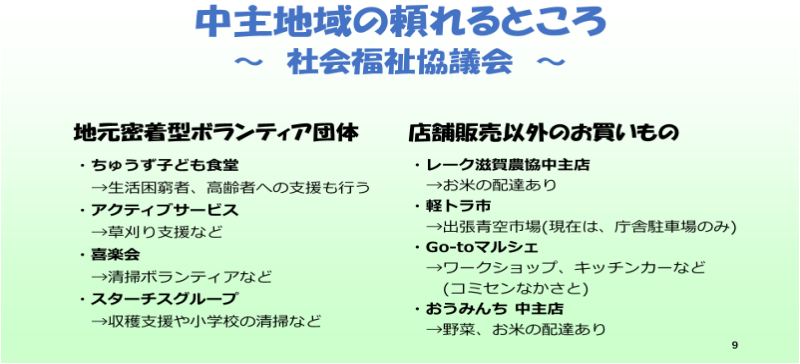
・居宅介護支援事業所・民生委員児童委員との勉強会　11 月 17 日（木）　参加者 48 名

「住み慣れた地域で暮らすために～あったらいいな　あんなこと　こんなこと～」～高齢者支援を通じた地域課題について～をテーマに、介護支援専門員と民生委員の顔の見える関係作りのきっかけとなる勉強会を開催しました。

・圏域包括ケア会議・第 2 層協議体合同会議

中学校圏域ごとに包括支援センターと共催で会議を開催しました。

圏域	開催日	内容
野洲中圏域	11 月 14 日（月）	参加者：地域活動を行っている市民（3 団体 5 名） ・各団体の活動紹介 ・意見交換（①会の後継者、継続について ②活動内容のマンネリ化への対応　③世代間交流について）
	2 月 22 日（水）	参加者：地域活動を行っている市民（3 団体 4 名） ・前回振返り ・ワーク　　～地域活動を続けるためのものを フィッシュボーンに整理しよう～ 「今、地域活動を続けるために大切にしていること」 「これから地域活動を続けていくために必要なこと」
野洲北中圏域	10 月 14 日（金）	「みんまち@野洲北中圏域～みんなでまちづくり」 参加者：地域づくりのキーパーソンとなりうる市民に参加依頼（各学区 2 自治会（計 6 自治会）より 2～3 名　計 11 名） ・野洲市や自分の住む地域の実態を知ろう ・グループワーク「自分の住む地域について感じていること、思っていることを語り合おう」 課題に感じていることとして、気になる人や心配な人ほど地域の行事などに参加されず見守りが難しい、高齢化による地域の担い手不足、災害時の支援方法などがあげられました。それに

<table>
<tr><td></td><td></td><td>対して、工夫していることとして災害時に備えた見守りリストの作成や、地域の行事について話し合う場（まちづくり協議会）を検討しているなどの声がありました。
 </td></tr>
<tr><td></td><td>1 月 20 日
（金）</td><td>参加者：地域づくりのキーパーソンとなりうる市民に参加依頼
（各学区 2 自治会（計 6 自治会）より 2～3 名　計 10 名）
テーマ「地域とのつながりが希薄な方をどう見守っていくか」
・第 1 回会議の振返り
・篠原駅前自治会　取組事例
「高齢者等見守り活動～その現状と課題」の報告
・グループワーク
「各地域での取組・できそうなことについて語り合おう」
 
</td></tr>
<tr><td>中主中圏域</td><td>10 月 28 日
（金）</td><td>参加者：圏域内介護保険関係事業所　5 事業所
民生委員児童委員　3 名
百歳体操代表者　　3 名
・中主地域はどんなところ？～介護保険のデータから～
・グループワーク「事例を自分事として考え話し合おう」
 
</td></tr>
</table>

□地域福祉活動推進事業補助金〔財源：共同募金〕

例年、学区自治連合会が地域福祉活動の促進を目的として実施される事業に補助を行っており、今年度はそれぞれの学区で下記の事業に活用されました。

学区	補助額	主な活用事業内容
野洲学区	50,000 円	10/23　第 16 回コミセンやす秋まつり
三上学区	50,000 円	11/19､20　悠紀まつり
祇王学区	50,000 円	1/29　第 31 回子育て報告会
篠原学区	50,000 円	11/6　トレトレ＆文化祭
中里学区	50,000 円	音楽広場・歴史探訪
兵主学区	50,000 円	茶道クラブ、生け花クラブ、陶芸教室、ビーズアクセサリー教室、けん玉教室、寄せ植え教室・広報誌の発行
計	300,000 円	

①話し合いの場づくり（住民による話し合いの場づくりへの働きかけ）

＊自治会、福祉団体、学校などさまざまな方々と地域での見守り、「困った時はおたがいさま」の関係づくりのために地域でできる最初の一歩などについて話し合いの場を開催しました。

【野洲中圏域】

開催日	内　容	参加者
8 月 21 日(日)	駅前東サロン	5 名
1 月 18 日(水)	よちよちクラブ（大畑）	4 名
3 月 1 日(水)	四ツ家自治会・空き家バンク shiga	6 名
7 月 9 日(土)	三上自治会	38 名
5 月 10 日(火)	近江富士 2 区自治会	3 名
5 月 20 日(金)	近江富士 5 区福祉健康推進委員会	15 名
6 月 17 日(金)	近江富士 5 区福祉健康推進委員会	13 名
9 月 16 日(金)	近江富士 5 区福祉健康推進委員会	10 名
10 月 21 日(金)	近江富士 5 区福祉健康推進委員会	13 名
2 月 17 日(金)	近江富士 5 区福祉健康推進委員会	11 名
5 月 14 日(土)	野洲学区自治連合会・民生委員	22 名
11 月 14 日(月)	野洲中圏域包括ケア会議・第 2 層協議体合同会議	12 名
2 月 22 日(水)	野洲中圏域包括ケア会議・第 2 層協議体合同会議	9 名

【野洲北中圏域】

開催日	内　容	参加者
8 月 18 日(木)	ひだまり友遊クラブ　（久野部東）	6 名
9 月 8 日(木)	ひだまり友遊クラブ（久野部東）	21 名
12 月 8 日(木)	ひだまり友遊クラブ（久野部東）	7 名
1 月 11 日(水)	ひだまり友遊クラブ（久野部東）	4 名
2 月 9 日(木)	ひだまり友遊クラブ（久野部東）	7 名
10 月 6 日(木)	栄 6 区（民生委員児童委員）	5 名
3 月 24 日(金)	栄（冨波南・縄手）自治会・空き家バンク shiga	4 名

2月 7日(火)	市三宅・空き家バンク shiga	5名
3月 8日(水)	富士美台自治会	2名
3月16日(木)	久野部自治会・空き家バンク shiga	11名
11月15日(火)	冨波甲自治会	6名
6月10日(金)	冨波乙自治会	2名
6月 4日(土)	祇王学区自治連合会	15名
9月 5日(月)	大篠原自治会	3名
3月13日(月)	大篠原自治会	2名
2月13日(月)	小堤自治会	7名
6月10日(金)	篠原駅前自治会	2名
9月17日(土)	篠原駅前自治会	8名
8月14日(日)	篠原シニアネット定例会（篠原駅前）	12名
8月24日(水)	小南自治会（個別ケア会議）	8名
1月13日(金)	小南自治会（空き家バンク shiga ）	5名
10月 6日(木)	篠原学区自治連合会	11名
7月 9日(土)	篠原学区民児協（大篠原・入町）	4名
8月17日(水)	篠原小学校コミュニティスクール準備会	9名
10月25日(火)	篠原小学校コミュニティスクール準備会	7名
12月26日(月)	篠原小学校コミュニティスクール準備会	15名
10月14日(金)	野洲北中圏域包括ケア会議・第2層協議体合同会議	11名
1月20日(金)	野洲北中圏域包括ケア会議・第2層協議体合同会議	15名

【中主中圏域】

開催日	内　容	参加者
3月10日(金)	比江自治会（空き家バンク shiga）	5名
5月 9日(月)	野田自治会	4名
2月28日(火)	野田自治会（空き家バンク shiga）	8名
6月30日(木)	中主学区自治連合会	26名
10月28日(金)	中主中圏域包括ケア会議・第2層協議体合同会議	12名

②居場所づくり（地域の居場所づくりへの支援）

□ひきこもり者・家族の居場所づくり〔財源：市委託、自主財源〕

地域の関係者や住民と連携しながら居場所づくり、働く体験のメニューも取り入れた取り組みをすすめました。

＊まだ名前のない居場所（中北・社会福祉法人 野洲慈恵会が管理する建物での居場所づくり）

＊開設の目的＊

ひきこもりの方の居場所をつくることで、外に出るきっかけや家族以外の他者との関わりの機会を提供します。
目的を定めず、ゆっくりと過ごせる居場所とすることで、ゆるやかに関係を構築していくとともに、働く体験等を通して、その人らしい生活の送り方を見つけていくことをめざします。

・開催日：毎月第 1 火曜日　10：00～15：30（働く体験の実施 13：30～14：30）12 回開催

開催日	当事者	家族	支援機関等
4 月 5 日(火)	3 名	1 名	9 名（3 機関）
5 月 10 日(火)	2 名	1 名	6 名（2 機関）
6 月 7 日(火)	3 名	1 名	7 名（3 機関）
7 月 5 日(火)	4 名	1 名	7 名（2 機関）
8 月 2 日(火)	2 名	2 名	6 名（2 機関）
9 月 6 日(火)	2 名	1 名	6 名（2 機関）
10 月 4 日(火)	2 名	1 名	3 名（1 機関）
11 月 1 日(火)	1 名	5 名	9 名（4 機関）
12 月 6 日(火)	4 名	3 名	4 名（2 機関）
1 月 10 日(火)	4 名	4 名	4 名（2 機関）
2 月 7 日(火)	2 名	6 名	4 名（2 機関）
3 月 7 日(火)	3 名	5 名	4 名（2 機関）

居場所、働く体験の機会の提供を組み合わせた場所として令和 2 年度から継続しています。今年度は特に家族の見学をきっかけに複数の方が継続して来所され、親同士のつながりも新たに生れました。

＊「豆吉（まめきち）」（安治・地域住民から活動場所として提供いただいた空き家の活用）

～こんな居場所にしたい ＊ 提供者との話し合いから～
地域の住民さんが元気になる場所
ひきこもり支援の居場所
子どもたちが勉強できる場所
社協出前相談 ＋ サロン
人が集うことで次につながるきっかけづくりができるような活動

近隣住民等との関わりが難しい方や困りごとや悩みのある方が、交流や出張相談を受けることができる地域にある居場所として、継続して社協活動の拠点として活用することができました。

○不登校児親の会お話の会の開催（新規）
一般社団法人「蜜柑の木」と開催をするための準備を重ね、5月より毎月開催しました。
・開催日：毎月第4水曜 13:00～15:00 10回開催

開催日	当事者親子	支援機関・ボランティア
5月25日(水)	1名	4名（2機関）
6月22日(水)	2名	5名（2機関・ボランティア）
7月27日(水)	2名	7名（3機関・ボランティア）
8月24日(水)	2名	1名（1機関）
9月28日(水)	3名	5名（3機関）
10月26日(水)	3名	6名（2機関・ボランティア）
11月30日(水)	3名	5名（2機関・ボランティア）
12月21日(水)	2名	5名（2機関・ボランティア）
1月25日(水)	雪の為中止	
2月22日(水)	2名	3名（2機関・ボランティア）
3月22日(水)	2名	3名（2機関・ボランティア）

○不登校児の親の会お話会…「心の居場所～toiro(といろ)～」
社協 HP の相談メールを通じて、「不登校の子どもたちとその保護者の方を対象にした居場所を作りたい」との相談をいただいたＡさん。
「蜜柑の木」が実施している親の会への参加をご案内し、親の会ではご本人の経験から当時親や学校、家庭の存在についてどう感じていたか等、参加の保護者とお話がはずみました。
そして、1月からは豆吉で居場所づくりがはじまりました。

「心の居場所～toiro（といろ）～」
小1～約10年間不登校を経験した女性が令和5年1月から立ち上げた不登校（行きしぶり）のお子さんとその保護者さんのための居場所。豆吉にて今後は毎週の開催を目指して活動されています。

「一般社団法人 蜜柑の木」
孤立を防ぐ活動を目的に、今がしんどい子どもさんや親さんの心が軽くなるお手伝いをしている団体。主に不登校行きしぶりの子どもたちの居場所「子ども食堂」と「親の会お話し会」を開催。独居高齢者やひきこもり家庭へのお弁当の配食もされています。

＊「COZY ROOM～野洲のかたすみ」（野洲・空き家の活用）（新規）

個人宅の小屋を改装して居場所づくりを始めておられる方の場所をお借りし、ひきこもり相談を受けている保護者のうち、4 名に声をかけ親の会(ほっと♡タイム)を 9 月より開始しました。次年度以降は当事者団体として継続できるよう毎月 1 回の開催を支援していきます。

開催日	参加者	支援機関・ボランティア
9 月 21 日(水)	4 名	2 名（1 機関）
10 月 26 日(水)	2 名	3 名（1 機関・ボランティア）
11 月 29 日(火)	3 名	2 名（1 機関）
12 月 22 日(木)	3 名	2 名（1 機関）
1 月 25 日(水)	雪の為中止	
2 月 20 日(月)	5 名	6 名（2 機関・ボランティア）
3 月 20 日(月)	6 名	8 名（3 機関・ボランティア）

3 月 20 日は県社協共催で、「出張家族教室」として KHJ 認定ピアサポーターの上田理香さんをお迎えして懇談会を実施しました。

親同士、困っていることや悩んでいることが安心して話せて、「ほっとした一時が過ごせる場という意味を込めて　『ほっと♡ｔｉｍｅ』　という名前に決まりました。

日頃悩んでおられる医療機関の受診や薬のこと、自分も同じことに悩んでいたなどお互いに一人一人の想いを傾聴され、安心してお話をされている様子がうかがえました。支援者としてこれまで保護者の方と関わっているときには聞けなかったいろいろな思いも聞くことができ、今後も保護者の方が元気になれる場になればと考えています。

□小地域ふれあいサロン支援事業〔財源：市補助、自主財源〕

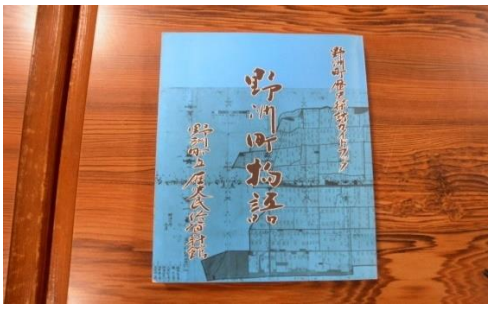
地域における高齢者の生きがいづくりや閉じこもり予防、地域の支えあい活動を促進することで、地域の見守り活動支援体制を推進することを目的に、小地域ふれあいサロン事業の運営支援を行いました。また、地域で高齢者や子育て中の保護者が気軽に寄り合える居場所(サロン)の立ち上げについて、立ち上げから実施までの相談･支援を行いました。

サロンを訪問し、様子や取り組みされている工夫などをＦａｃｅｂｏｏｋに掲載しました。

サロン名	訪問日	サロン名	訪問日
野洲サロンなしま	4 月 15 日 7 月 15 日	上町福寿ふれあいサロン	10 月 19 日
野洲自治会ふれあいサロン 四ツ家幸せサロン	7 月 25 日 12 月 20 日	下町ふれあいサロン	5 月 19 日 2 月 21 日
		江部ふれあいサロン	8 月 19 日
大畑サロン	6 月 21 日	北わかば会	6 月 14 日
駅前東サロン	8 月 21 日	冨波甲ふれあいサロン	2 月 17 日
市三宅ふれあいサロン	6 月 7 日	新上屋ふれあいサロン	3 月 23 日
栄しあわせサロン	6 月 15 日 3 月 15 日	野洲の里ふれあいサロンレインボー	6 月 29 日
		東町・西町ふれあいサロン	11 月 10 日
四方山会（久野部）	5 月 19 日 6 月 15 日 6 月 23 日 8 月 18 日 9 月 22 日	入町ふれあいサロン	6 月 14 日
		高木ふれあいサロン	6 月 17 日
		小南ふれあいサロン	6 月 21 日
		しのはらイキイキふれあいサロン （篠原駅前）	7 月 27 日 11 月 24 日
久野部東ニコニコ会	5 月 12 日	野田いきいき筋トレ九楽歩	1 月 12 日
ほっこりー花会（久野部東）	5 月 26 日	豆吉（安治）	5 月 20 日 6 月 17 日
愛慈彩の会（七間場）	7 月 7 日		

◎サロン訪問（Facebook 掲載記事より）

今日は、久野部ふれあいサロン「四方山会」にお邪魔しました。
カロムゲームや高校野球観戦で盛り上がる中、「久野部に古墳があったの知ってる？」という
お話にビックリ！ そこから「歴史のまち やす」について、皆さんにいろいろと教えていただきました。これはぜひ、地域の子ども達にも聞かせてあげてほしい…自分たちの住んでいる
身近な地域をもっと好きになるきっかけになるのではないかと思いました。
どうしたらそんな機会が持てるかな…いいアイディアあったら教えてください☆



□サロン交流会の開催〔財源：市委託、自主財源〕

サロンの担い手やこれからサロンを実施したいと考えておられる方などを対象とし、交流会を開催しました。

今年度は、サロン運営時の工夫やアイディア、困りごとを共有しあう場として活用していただきました。社協から、Facebook記事や担い手さんの声を紹介し、参加者同士で色々な工夫や情報をお互いに発信し合い、同じ思いの仲間と出会え、活動の方向性や方法を考える機会になりました。

【サロン交流会開催状況】

開催日	会　場	参加者	内容
4月25日(月)	コミセンぎおう	10名	サロン補助金について、消しゴムハンコ紹介
4月26日(火)	コミセンきたの	10名	サロン補助金について、消しゴムハンコ紹介
4月26日(火)	コミセンみかみ	12名	サロン補助金について
4月27日(水)	コミセンやす	5名	サロン補助金について、体操体験
4月27日(水)	コミセンしのはら	5名	サロン補助金について、消しゴムハンコ、体操体験
4月28日(木)	コミセンひょうず	13名	サロン補助金について、消しゴムハンコ、体操体験
10月21日(金)	コミセンきたの	中止	環境学習出前講座
10月24日(月)	コミセンみかみ	9名	ミュージックケア体験
10月31日(月)	コミセンなかさと	11名	ボランティア紹介、貸出備品体験
1月19日(木)	コミセンひょうず	11名	サロンについて
1月23日(月)	コミセンぎおう	16名	サロンについて、ボランティア紹介

※すべての開催日で情報交換の時間を設定

【サロン担い手交流会　アンケートより】

・他のサロンと情報交換でき、今後に役立つことが多かった

・サロンを行う上で参考になった・内容が具体的で良かった・悩みを聞けて良かった

□サロン活動補助金〔財源：市補助、自主財源〕

65歳以上の高齢者を対象とした生きがいづくりや閉じこもり予防、地域の支えあい活動を促進することを目的とした“サロン・集いの場”の開催に対し、運営に要する経費の補助を行いました。

サロン実施団体等	補助数	サロン実施団体等	補助数
野洲ふれあいサロン	12	上町福寿ふれあいサロン	12
野洲サロンこのざ	12	下町ふれあいサロン	7
野洲サロンなしま（おたがいさま）	12	江部ふれあいサロン（おたがいさま）	12
四ツ家幸せサロン	12	江部Café フレンド	12
ベビーリーフ（四ツ家）	12	中北貴ふね会	12
大畑サロン	10	わかば会（北・おたがいさま）	12
万葉台ふれあいサロン	12	ウイズ・ユー（北）	10
万葉クラブ	11	上屋ふれあいサロン（おたがいさま）	10
行畑なごやかサロン	12	新上屋ふれあいサロン（おたがいさま）	16
小篠原ふれあいサロン	10	冨波甲ふれあいサロン	10
さくらなかよしサロン（桜生）	12	野洲の里ふれあいサロンレインボー	12
ふれあいサロン松の会（駅前）	11	成橋町ふれあいサロン（大篠原）	10
駅前東サロン	10	東町西町ふれあいサロン（大篠原）	10
和田ふれあいサロン	7	街道町ふれあいサロン（大篠原）	10
青葉台ふれあいサロン	12	小堤ふれあいサロン	10
市三宅ふれあいサロン	12	入町ふれあいサロン	10
栄しあわせクラブ	12	高木ふれあいサロン	12
四方山会	6	高木なかよしサロン	12
久野部東ニコニコ会（おたがいさま）	45	小南ふれあいサロン	12
ほっこり一花会（久野部東）	9	小南友愛サロン	12
竹生ふれあいサロン	5	しのはらｲｷｲｷふれあいサロン（篠原駅前）	7
五之里ふれあいサロン	8	比江ふれあいサロン（おたがいさま）	20
わくわくクラブ（富士美台）	12	ほほえみサロン	9
ヴィルサロン（ヴィルヌーブ野洲）	12	木部いきいき会	6
山出ふれあいサロン（おたがいさま）	12	吉地ふれあいサロン	3
東林寺ふれあいサロン	10	吉地いきいき百歳体操クラブ	12
前田ふれあいサロン	6	サロン虹の会（虫生）	4
小中小路ふれあいサロン	7	八夫福祉委員会	2
大中小路ふれあいサロン	7	野田お喋り会（おたがいさま）	9
愛慈彩の会（七間場）	12	野田いきいき筋トレ九楽歩（おたがいさま）	51
なごみサロン（妙光寺）	9	井戸端カフェ（野田・おたがいさま）	12
北桜ふれあいサロン	7	五条ふれあいサロン	3
南櫻ふれあいサロン	5	豆吉	11
笑楽（近江富士第二区・おたがいさま）	12	ふれあいカフェテラス（下堤）	12
近江富士第三区ふれあいサロン	3	ふたば会（井口）	4
福祉健康推進委員会（近江富士第五区）	5	六条たのしみ会	7
フラワーハウスの集い（近江富士第五区）	12	ランチサロン（吉川）	4
ＯＦＪ６．９プラザ（近江富士第六区）	12	吉川百歳体操クラブ	11
ﾁｬﾚﾝｼﾞ・ｾﾌﾞﾝﾜｰﾄﾞ（近江富士第七区）	6		
計：77サロン／　補助対象開催数826回／補助額合計3,567,495円			

＊新設のおたがいさまサロン補助金申請は、12サロンでした。

＊ふれあいサロン補助基準：1 回あたり 5,000 円、1 サロン 12 回を上限として補助
令和 6 年度以降ふれあいサロン補助金廃止し、おたがいさまサロン補助金に移行する。
＊おたがいさまサロン補助基準：1 月あたりの平均参加者人数により補助金限度額を算定し、百歳体操や市の健康教室の受講により加算有

□子育てサロン支援事業〔財源：共同募金〕

子育て中(乳幼児・未就園児)の保護者を地域で支えるサロン活動を促進することを目的として子育てサロン事業に対して運営に要する経費の補助を行いました。

(補助基準：1 回あたり 3,000 円、1 サロン 12 回を上限として補助する。)

自治会等	サロン名	補助数
野洲学区自治連合会	わくわく親子ひろば	11 回
大畑自治会	大畑よちよちクラブ	12 回
シャリエ野洲	シャリエ野洲子育てサロン	9 回
北野学区自治連合会	きたのっ子ひろば	11 回
サニークレスト野洲管理組合	パンダクラブ	12 回
三上学区自治連合会	さくらんぼクラブ	11 回
祇王学区自治連合会	ぽかぽか広場	12 回
篠原学区自治連合会	篠っ子おやこひろば	8 回
中里・兵主学区自治連合会	ルンルンおやこひろば	7 回
比江自治会	比江カンガルークラブ	3 回
吉地自治会	吉地子育てサロン	2 回
計：11 サロン／補助対象開催数 98 回開催／補助額合計 292,732 円		

□サロン等備品貸出事業〔財源：善銀〕

自治会等で開催されるふれあいサロンや子ども会行事などの充実を図るため備品の貸出を行いました。今年度は、新たに２つの備品を揃えて充実させ、サロン等支援につなげました。

【備品貸出内訳】　　計 3,683 日(延べ貸出日数)

備品名	貸出日数	備品名	貸出日数
カロム	460 日	輪投げ	149 日
カーレット	65 日	唱歌かるた	7 日
ゲーゴルゲーム	32 日	魚魚（とと）合わせ	21 日
スマイルボーリング	54 日	レクリエーション・脳活ドリル	166 日
スローイングビンゴ	22 日	消しゴムはんこ	39 日
シャッフルボード	9 日	SD カラオケ	24 日
ターゲットゲーム	82 日	DVD(ウエルハピネス体操)	4 日
釣りっこ	38 日	DVD(口腔体操)	428 日
ハンドベル	34 日	DVD(できなくてあたりまえ体操)	162 日
バッコン	28 日	DVD(おにごぼ体操)	233 日
ビーンボーリング	61 日	DVD(椅子体操)	1,301 日
ビンゴゲーム	53 日	DVD(体操の時間ですよ)	96 日
ポケットボール	82 日	DVD(認知症予防ゲーム)	18 日
ラダーゲッター	15 日		

主な貸出先：小地域ふれあいサロン、子ども会、老人会、自治会、学校、福祉団体、福祉施設等

③見守り活動

・見守りマップ作成に向けた働きかけ･話し合いの場の実施

学区	自治会	参加者
野洲学区	四ツ家	自治会長、民生委員、空き家バンク shiga
北野学区	市三宅	自治会役員、空き家バンク shiga
	縄手	自治会役員、民生委員、空き家バンク shiga
	冨波南	
	久野部	自治会長、民生委員、地域住民、空き家バンク shiga
	久野部東	ひだまり友遊クラブ（福祉委員会）
三上学区	三上	自治会役員
	近江富士５区	福祉健康委員会
篠原学区	篠原駅前	自治会役員、民生委員
中主学区	比江	自治会長、民生委員、空き家バンク shiga
	野田	自治会長、民生委員、空き家バンク shiga、市

□歳末たすけあい配分事業

歳末たすけあい運動の一環として、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らすことができるよう、住民の参加や理解を得てさまざまな福祉活動を行いました。

事　業	内　容	配分額(円)	備　考
福祉施設等助成事業	年末年始の交流活動事業・施設整備等への助成	500,000	25,000円×20施設・団体
要保護世帯等支援事業	市内の要保護世帯を対象に支援を目的として必要とする世帯へ配分	2,040,000	10,000円×172世帯 1,000円×320名
ひとり暮らし高齢者等友愛訪問事業	野洲市作業所等連絡会に作成依頼したカレンダーを民生委員・児童委員の協力を得て、市内のひとり暮らし高齢者等のお宅を友愛訪問し、安否確認や見守りを兼ねて行う事業に配分	518,980	1,400部作成
日常生活支援事業	支援が必要な世帯に対し年末の掃除等の支援を行う事業に配分	188,305	窓拭き：65世帯
配分額合計　3,247,285円			

＊昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年1月以降に生活福祉資金特例貸付を申請され、貸付を受けた世帯についても要保護世帯等支援事業の対象として支援しました。

□命のバトン配布事業〔財源：自主財源〕

高齢者や心身に障がいのある者等を対象に、急病や災害等の緊急時に救急隊員及びかけつけた方へ持病やかかりつけの病院などの情報をより早く的確に知らせるため、必要な情報を保管する容器やシートの配布を行いました。

	野洲	北野	三上	祇王	篠原	中里	兵主	計
配布世帯数	391	242	326	182	95	256	138	1,630
利用人数	578	342	559	260	139	368	197	2,443

（２）広報･啓発事業

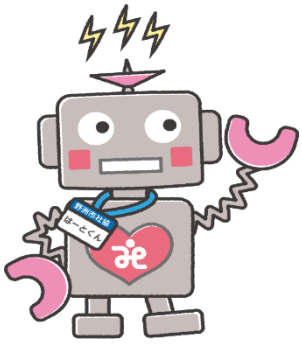
①広報誌「社協やす」の発行〔財源：市補助、自主財源、共同募金〕

地域福祉活動への関心と理解を深めるため、広報誌「社協やす」を発行し、本会の活動や市内で活動しているボランティア団体･小地域福祉活動について広く市民に情報発信を行いました。

今後、全戸配布を実施できるよう、各市町社協に広報の配布方法について伺い、検討しました。

発　行　日	6・9・11・3 月の各 15 日(年 4 回発行　№92～95) 新聞折込・各関係機関等への配布
主な掲載内容	6 月　「民生委員児童委員の日」活動紹介／令和 4 年度事業計画・予算／ボランティア紹介(ベルマーク運動について)／ありがとうメッセージ紹介／ファミリー・サポート・センターからのお知らせ／お知らせ版
	9 月　野洲市赤十字奉仕団活動紹介／令和 3 年度事業･決算報告／役員紹介／地域福祉権利擁護事業／総合相談／ポエム／ファミリー・サポート・センター講習会・交流会開催報告・案内／赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金配分事業案内／お知らせ版／地域 de 応援講座!!
	11 月　すまいる☆ギフトプロジェクト紹介/空き家バンク紹介/地域 de 応援講座!!/ファミリー･サポート･センター講習会案内/社会福祉協議会イベント案内/野洲市社協障がい者相談支援センター案内/野洲市社会福祉協議会会費のお礼/お知らせ版
	3 月　社会福祉協議会イベント案内/社会福祉大会会長表彰被表彰者・滋賀県共同募金会感謝状(伝達)被表彰者報告、地域活動報告会案内/赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動報告/歳末たすけあい募金配分事業報告/赤い羽根共同募金会助成報告/地域 de 応援講座!!/ボランティア保険/善意銀行/野洲市ファミリー・サポート・センター案内/お知らせ版

・マスコットキャラクター「はーとくん」の作成



～はーとくんの特徴～
・困っている人がいたら手を差し伸べてくれる
・アンテナで情報をキャッチして、アドバイスをくれる
・手は、地域の輪を広げて、いろいろなものをつなげる「わ」になっている
・みんなの声を聞かせてもらう意見箱を背負っている

②ＳＮＳや冊子等を活用した啓発〔財源：自主財源〕

・ホームページリニューアル・更新
・フェイスブックの更新（202 回）
・地域活動応援ガイド「はじめの一歩」の作成
・サロン情報「社協 かわら版」の発行（№9～№14）

自治会を通じ、サロンの担い手を対象に「社協 かわら版」を発行し、サロン運営に関する補助金や、ボランティア情報、交流会の案内などの情報提供を行いました。

発行月	主な内容
4月（No.9）	・小地域ふれあいサロン・おたがいさまサロン補助金申請の流れ ・留意点等の説明会案内
5月（No.10）	・サロン事業補助金交付の流れ ・おたがいさまサロン補助金について主な変更点
6月（No.11）	・出前講座「スマホ体験講座」紹介 ・脳トレ紹介
9月（No.12）	・サロン担い手交流会案内
12月（No.13）	・サロン担い手交流会案内
3月（No.14）	・サロン補助金報告書提出のお願い・補助金移行の案内

③社会福祉大会の開催〔財源：市補助、自主財源〕

野洲市の地域福祉活動の推進あるいは優秀な団体活動の育成指導に努力されて、他の模範となる功績顕著な者、及び福祉活動に協力援助した篤行者又は団体に表彰及び地域福祉に関する講演の実施により地域福祉の啓発を図ることを目的として、令和5年1月28日(土)コミュニティセンターなかさとにて開催を予定しておりましたが、降雪による路面凍結などにより、やむなく開催を中止させていただくこととなりました。

被表彰者に対しては、自宅等へ伺い、賞状をお渡しし、報告予定であった2団体へは、改めて報告会を開催しました。

被表彰者	◇福祉功労者団体表彰　21名　1団体 会長感謝状　3団体 滋賀県共同募金会感謝状伝達　5団体 （表彰選考委員会）　令和4年12月27日（火）

・地域の見守り・つながりづくり活動実践報告会の開催

開催日	令和5年3月26日（日）
場　所	コミセンひょうず　大ホール
参加者	46名
内　容	＊概要説明（社協　生活支援CO.） ＊活動報告 「みんなで子育て　みんながわが子」 大畑自治会　よちよちクラブ 「久野部東に住んで良かった！」と感じられる地域を目指して 久野部東自治会　ひだまり友遊クラブ 地域の方の声かけにより世代を超えた地域での活動を通じて顔の見える関係ができている大畑の事例と、高齢化の進んでいる地域で地域住民へのアンケートをもとに取り組みを始められた久野部東の実践をお話しいただきました。

④視覚障がい者への情報提供

視覚障がいのある方に対し、各種広報・チラシ等の情報が伝わるようにするため、ボランティアの協力を得て音訳・点訳したものを作成し、毎月1日に提供しました。

また、9月以降新たに配布ボランティアの協力を得て、対象者宅に届けることで、情報提供だけでなく日常の見守りにもつながりました。

□広報等音訳事業〔財源：市委託〕

行政等が発行する啓発・広報誌等を音訳し、視覚障がいのある方への情報提供を行いました。

区　分	令和4年度	令和3年度
実施回数	12回(毎月1日配布)	12回(毎月1日配布)
実利用者数	9人	9人

＊事業協力ボランティア：朗読ボランティア「さえずり」

＊音訳内容：広報やす、議会だより、時刻表 他

□その他の情報提供〔財源：共同募金、自主財源〕

社協が発行する広報誌の音訳と行政等が発行する情報を点訳し、視覚障がいのある方への情報提供を行いました。

＊点訳・音訳内容：社協やす、広報やす、議会だより　他

＊点訳ボランティア：野洲点字サークル

＊音訳ボランティア：朗読グループさえずり

＊配布ボランティア：個人ボランティア

2．地域の中の生きがい（役割）づくり

（1）ボランティア活動の推進〔財源：市補助、自主財源〕

ボランティアをしたいという方や、ボランティアグループに対し、ニーズにあったマッチングを行うとともに、安心して活動していただくために、ボランティア活動保険への加入案内や活動の相談･支援を行いました。

ボランティア団体の活動日に訪問し、活動内容や団体紹介などフェイスブックに掲載しました。

□ボランティア相談受付

ボランティア相談受付対応数	203件
ボランティアコーディネート数	43団体30個人

・レイカディア大学学生対応　6名

□ボランティア登録・保険の受付〔財源：自主財源〕

保険に加入いただくことで、安心してボランティア活動や行事を行っていただくことができるよう保険加入の案内・受付を行いました。

保険種類(保険料)		令和4年度	令和3年度
ボランティア活動保険	登録グループ数	54ｸﾞﾙｰﾌﾟ	54ｸﾞﾙｰﾌﾟ
	基本プラン(350円)	1,016名	1,037名
	天災・地震補償プラン(500円)	18名	20名
	特定感染症重点プラン(550円)	7名	0名
ボランティア行事用保険(最低保険料560円)		307行事	270行事
福祉サービス総合補償		5ｸﾞﾙｰﾌﾟ	3ｸﾞﾙｰﾌﾟ

□ボランティア連絡協議会支援〔財源：自主財源、共同募金〕

ボランティアの連携や会員相互の親睦を図ることによりボランティア活動を広げるとともに、会員の資質向上を目指すことを目的としているボランティア連絡協議会の活動支援を行いました。

・ボランティア連絡協議会　会員交流会（6 月 27 日　コミセンなかさと大ホール）
社協貸出備品を活用したゲーム大会が行われました。

・ボランティア連絡協議会　活動発表会（9 月 6 日　コミセンなかさと大ホール）
「ポピンズ(今年度加入団体)」・「ともしび」による活動発表が行われました。

みんなでズンバにチャレンジ
「ポピンズ」

寸劇と手話歌を披露された
手話サークル「ともしび」

・ボランティア連絡協議会　研修会（11 月 15 日　コミセンなかさと大ホール）
「野洲断酒会」による「お酒で苦しまない社会の実現に向けて」の研修が行われました。

□ボランティア活動補助金〔財源：共同募金〕

ボランティア活動の活性化を図るため、グループ活動費の補助を行いました。

グループ名	補助額	グループ名	補助額
要約筆記サークルチェリー	12,800 円	レク・すだれ	12,800 円
手話サークルともしび	16,300 円	野洲朗読ｸﾞﾙｰﾌﾟさえずり	13,850 円
日本車椅子レクダンス協会	12,100 円	ラス・フローレス	12,100 円
ビーフォー＆オー	11,750 円	野洲断酒会	15,250 円
ポピンズ	12,450 円		
計　9 グループ　　補助額合計　119,400 円			

□学習支援事業〔財源：自主財源〕

①やすクールへのボランティア派遣

午後６時から実施される学習前に軽食(おにぎり)を提供するため、炊飯・おにぎりボランティアとして協力していただくボランティアを募り派遣しました。

実施日時	毎週水曜　午後４時～ (7/20～9/7、10/19　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 12/14　インフルエンザ感染による中学校閉鎖のため中止 1/25　降雪のため中止)
登録数	おにぎりボランティア　14 名　(毎回４名ずつの当番制)

②おにぎりボランティアと生徒交流会

開催日	内　容	参　加
4 月 20 日(水)	開校式	感染防止のため、ボランティア参加辞退
12 月 21 日(水)	クリスマス	クリスマス用ランチボックス提供
3 月 15 日(水)	修了式	祝い用ランチボックス提供

③おにぎりボランティア連絡会議

開催日	会場	参加
2 月 1 日(水)	コミセンやす	おにぎりボランティア 9 名 市民生活相談課、社協

□ボランティア講座（地域 de 応援!!講座）の開催

地域住民の地域における社会参加やボランティア活動を促すため、幅広い分野の内容の連続講座を開催することで、自分に合った活動の発見と実践につなげていくためのきっかけづくりとすることを目的として開催しました。

全課程（5 回）を受講された参加者 3 名の方に修了証をお渡ししました。

開催日	テーマ	参加数
9 月 13 日(火)	「旅をあきらめない！介護旅行の世界」 ～ユニバーサルツーリズムの普及に向けて～ 滋賀短期大学ビジネスコミュニケーション学科　江見和明さん	16 名
10 月 7 日(金)	「コミュニケーションエラーはなぜ起こる？」 ～無意識の思い込み「あぁ勘違い…」～ エイチアール・エクシード　産業カウンセラー　小出民雄さん	35 名
11 月 8 日(火)	「〇〇でいい？そう！私はこんな防災がいい！」 ～程よい距離感がポイントの新しい防災のハナシ～ おもしろ防災アドバイザー　南あきこさん	32 名
12 月 9 日(金)	認知症でも安心して暮らせるために～認知症ｻﾎﾟｰﾀｰ養成講座 野洲市地域包括支援センター・認知症ｻﾎﾟｰﾀｰｷｬﾗﾊﾞﾝﾒｲﾄ	31 名
2 月 21 日(火)	地域実践活動報告 ・空き家（豆吉）を地域の居場所へ 吉田惠子さん（豆吉サロンスタッフ） ・学校ボランティアと地域のつながり 小澤郁乃さん（篠原小読書ボランティア）	21 名

【地域 de 応援！講座⑤　地域実践活動報告より】

お 2 人が社協を通じて出会った経緯や、おしゃべりをすることでつながった想いなど丁寧に伝えてくださいました。参加者のみなさんからもボランティアや居場所（サロン等）について、活動の紹介や想いを聞かせていただくことができました。いろんな方を巻き込んで、共感の連鎖を生み出したり、豊かなコミュニケーションが生まれるようにしたり、枠組みを超えて、丁寧に関係を紡ぎ出されていて、居場所作りやボランティアに参考になるお話でした。

□福祉教育活動の推進と福祉活動推進校の支援〔財源：自主財源、共同募金〕

・福祉推進校支援

市内の小・中学校及び高等学校を福祉推進校として指定し、児童・生徒を対象にボランティア活動を通じて身近な福祉問題の理解と関心を高め、社会連帯・社会奉仕の心を養うとともに、児童・生徒を通じて家庭および地域社会へのボランティア精神の啓発を図る活動を促進・支援しました。

学校名	補助額	主な活用事業内容（計画）
野洲小学校	20,000 円	GT による高齢者福祉体験学習（3 年生） 地域の方と昔遊び交流会（1 年生） ベルマーク集め、手をつなぐ子らの鉛筆販売（全学年）
北野小学校	20,000 円	認知症啓発講座、暮らしやすい社会について学習（4 年生） カレンダー作り、赤い羽根共同募金、鉛筆販売、北野っ子フェスタ（全学年）
祇王小学校	20,000 円	総合的な学習～イヤーマフや耳栓を活用した学習～（3 年生）
篠原小学校	20,000 円	篠原糯の田植え、稲刈り体験（5 年生） 篠原焼体験（2・4・6 年生） 野洲養護学校との交流（4 年生） 盲導犬ユーザーについて学ぶ（3 年生） 野洲篠原すみれ苑見学（2 年生） 地域の方と大豆の植え付け、脱穀体験（3 年生） 赤い羽根共同募金、ユニセフ募金活動、福島ひまわりプロジェクト（委員会）
中主小学校	20,000 円	総合的学習「人にやさしい町づくり」（3 年生） 人権週間：人権作品（標語、ポスター）の作成・啓発（全学年） 赤い羽根共同募金活動（委員会）
中主中学校	20,000 円	福祉体験学習（手話、点字、車椅子、パラスポーツ）（1 年生） 生徒会委員会による収集活動（ベルマーク、プルトップ、コンタクトレンズ空ケース） 長期休業中の地域貢献活動 生徒会による地域清掃活動「キラキラ中主タウン計画」の実施 生徒会による赤い羽根共同募金への参加
6 校　／　補助額合計 120,000 円		

○福祉学習への協力

学校名	開催日	内容
野洲小学校	11 月 11 日(金)	3 年生対象　高齢者との関りについて 協力事業所…介護老人保健施設　野洲すみれ苑
中主中学校	2 月 8 日(水) 2 月 9 日(木)	1 年生対象　聴覚障がいについて 協力ボランティア…手話サークルともしび

【福祉体験学習について】

福祉推進校事業助成金交付申請の送付時、「福祉教育の案内」文書を作成し相談活用いただけるように案内しました。

・すまいる☆ギフトプロジェクト（高齢者施設と地域との連携から福祉学習への展開）

コロナ禍で直接施設を訪ねることが難しい中、令和 3 年度から社協からの働きかけにより始まった作品や手紙を通じた「学童保育所の子ども達」と「特別養護老人ホーム ぎおうの里」がつながるきっかけづくりの活動を今年度も継続しました。

□子ども会育成事業〔財源：自主財源〕

次世代を担う児童を地域で健全に育成していくことを目的として、自治会等における子ども会の活発な運営を支援するため、活動経費の一部に補助を行いました。

（＊補助基準：10,000 円＋150 円×児童数）

自治会等	児童数	自治会等	児童数	自治会等	児童数
野洲	56	冨波湖州平	26	野洲の里	13
四ツ家	75	富士美台	36	見星寺ｵﾚﾝｼﾞﾀｳﾝ	44
大畑	19	ｳﾞｨﾙﾇｰﾌﾞ野洲	12	冨波東	67
万葉台	30	ｱﾙﾃｨﾌﾟﾗｻﾞ野洲	5	大篠原	26
行畑(行合)	39	三上	36	小堤	11
行畑(古里)	32	七間場	28	長島	11
行畑(中畑)	94	妙光寺	10	小南	35
小篠原	182	北桜	5	篠原駅前	71
桜生	68	南櫻	10	比江	57
駅前	60	近江富士 1 区	23	小比江	2
駅前東	12	近江富士 2 区	12	北比江	9
青葉台	9	近江富士 3 区	8	錦の里・乙窪	18
レックス	15	近江富士 5 区	20	吉地	83
グランブルー	14	近江富士 6 区	5	西河原	122
エスリード野洲第 2	15	近江富士 7 区	8	比留田	45
シャリエ野洲	19	上町	45	木部	16
市三宅	156	下町	7	虫生	19
五反田	13	江部	60	八夫	38
山田	11	中北	8	野田	36
縄手	8	北	28	五条	12
樋ノ尻	6	上屋	5	安治	16
冨波南	10	新上屋	13	下堤	5
久野部	38	冨波甲	88	井口	30
久野部東	20	冨波野	19	六条	22
竹生	7	冨波松陽台	61	吉川	54
五之里	4	冨波乙	28	菖蒲	11
計　78 自治会　／　補助額合計 1,153,650 円					

□災害ボランティアセンターの設置に向けた取組〔財源：市補助、自主財源〕

・災害支援プロジェクト会議

開催日	主 な 内 容	出席数
5月12日(木)	災害ボランティアセンター運営訓練（3/28）の振り返りから今後の訓練について 社協職員災害時行動指針の作成について	5名
7月 7日(木)	災害ボランティアセンター運営の手引き(案)について 社協職員災害時行動指針(案)について	5名
9月 8日(木)	近江八幡市社協災害ボランティアセンター運営訓練への参加について 社協職員災害時行動指針(案)について	5名
11月10日(木)	社協職員災害時行動指針(案)職員協議後の修正点について 近江八幡市社協災害ボランティアセンター設置運営訓練への参加について	5名
1月12日(木)	災害ボランティアセンター設置運営訓練(3/2)の内容について	5名
3月 9日(木)	災害ボランティアセンター設置運営訓練（3/2）の振り返りから今後の訓練について 災害支援プロジェクト会議の今後の展開について	4名

・設置訓練・研修の実施

開催日	研　修　内　容	参加数
9月 8日(木)	災害ボランティアセンター研修 「社協職員災害時行動指針(案)について」 講師：ローカリズム・ラボ　井岡仁志　氏	20名
11月23日(水)	近江八幡市社協災害ボランティアセンター設置運営訓練参加	5名
3月 2日(木)	災害ボランティアセンター運営訓練	18名

□善意銀行の運営〔財源：善銀〕

市民の善意の預託(金員・物品)を受け、地域福祉の促進のために、本会の事業や福祉施設、生活困窮者等へ配分し、効果的に活用させていただきました。

	預 託 先	個人	団体	企業	その他	計
預 託	金員預託	8	19	5	0	32件(1,009,144円)
	物品預託	83	18	5	0	107件(米、切手、野菜、レトルト食品、缶詰等食料、日用品、介護用品等)
払 出	金 員	車椅子貸出事業、サロン貸出備品の購入等				
	物 品	こども食堂、生活困窮者、生活困窮者等支援機関、福祉施設				

＊今年度、初めて預託いただいた方も多くおられました。今後も善意銀行をより多くの方に知っていただき、預託をいただけるよう地域の方とのつながりを増やしていけるようにしたいです。預託物品を支援の必要な方や生活困窮者等支援機関に届けることで、緊急性のある場面にも対応することができました。

□リユース・フードドライブ活動

5月7日（土）環境保護団体あちゃはぴ主催「どうぞの会」への参加

社協で把握している生活困窮の方に情報を提供してほしいとボランティア相談からつながった方からリユース品の無料譲渡会を定期的にされていることの紹介を受けました。必要な方に情報提供するとともに、野洲図書館で開催された今回の無料譲渡会に善意銀行で預託していただいたものを中心に社協として出店しました。

（２）社会福祉関係団体との協働活動の推進

①福祉団体の育成を図るための支援〔財源：市補助、県社協補助、自主財源、共同募金〕

＊民生委員児童委員協議会

民生委員法第 24 条に定める住民の福祉の増進を図る職務の遂行と円滑な運営を図ることを目的とする民生委員児童委員協議会の事務局として活動支援を行いました。

【主な活動支援】

・総会　　5月27日（金）参加者59名
・臨時総会12月1日（木）参加者107名
・役員会　12回(毎月第1月曜日)
・臨時役員会　2回
・各学区定例会　12回×6学区
・主任児童委員定例会　12回(毎月第3月曜日)
・広報委員会　5回　広報誌「民生委員・児童委員だより」3月発行
・人権研修　11月1日（火）　参加者51名
　内容：「ひきこもりの理解」　講師：訪問看護ステーション和来やす
　　管理者　本間　亮二氏
・子育て家庭訪問事業研修　中止
・湖南地域4市会長等交流会　中止　当番市草津
・湖南地域4市主任児童委員交流会　6月29日（水）当番市草津　参加者9名

＊赤十字奉仕団

日本赤十字社野洲地区事務局として赤十字事業推進のため、奉仕団への指導・援助を行いました。今後、地域ボランティア団体としての役割を広げることを目的に自治会や教育機関、地域活動団体と共同活動ができるよう支援します。

【主な活動支援】

・赤十字奉仕団野洲地区委員会　年7回
・野洲地区赤十字奉仕団一日研修の開催
　開催日：10月22日(土)　場所：野洲市総合防災センター
　講演：「防災を考える３」～三角巾を使った救急法～

講師：日本赤十字社　滋賀県支部　赤十字救急指導員　里内睦美さん、尾本美幸さん
発表：「地域のみんなとの繋がり」中主赤十字奉仕団　督永栄子さん
「赤十字奉仕団に入団して」野洲赤十字奉仕団　東郷ミエ子さん

＊介護者家族の会〔財源：自主財源〕
在宅介護されている家族の会への活動支援を行いました。
今後の活動支援として、より一層の会の周知を図り、野洲市内の介護者家族への支援を行います。
【主な活動支援】
・介護者家族の会懇談会　12 回（毎月第 3 水曜日）
・懇談会案内　広報誌「社協やす」 年 4 回

＊野洲市障がい者関係団体連絡協議会
市内に事業所を有する障がい者関係団体が相互の連携を図り、障がい者福祉の向上とその発展に寄与することを目的としている団体の活動支援を行いました。
【主な活動支援】
・役員会　6 回
・福祉をすすめる研修会　1 月 21 日（土）
講演：「障がい者虐待防止について考える」　講師：松上　利男氏
～支援の質の向上を目指して～
場所：コミュニティセンターなかさと　参加者：障団協関係者 25 名

□福祉団体育成事業 〔財源：市補助金、自主財源、共同募金、善銀〕
市内の福祉団体の活動や事業に対する補助・支援を行いました。
＊活動助成　　計 6 団体　／　補助額合計　300,000 円
・野洲市介護者家族の会　　・野洲市民生委員児童委員協議会
・野洲市老人クラブ連合会　　・たんぽぽの会(野洲市精神障害者患者家族会)
・野洲市ことばを育む会　　・野洲市ボランティア連絡協議会

＊事業助成　　計 2 団体　／　補助額合計　562,000 円
・野洲市遺族会(戦没者慰霊祭、忠魂碑管理料等)
・野洲市赤十字奉仕団（一人暮らし高齢者のつどい事業）
※新型コロナ感染症拡大防止のため下記の事業は中止されました（申請なし）
・野洲市障がい者関係団体連絡協議会(障がい者スポーツ大会、障がい者交流事業)

②母子・父子家庭ふれあい事業 〔財源：市委託〕
ひとり親家庭の親と子を対象とした「パン作り教室」、「いちご狩り体験」を行い、交流や情報交換の場をつくり、当事者活動の支援を行うため企画・実施しました。
実施後アンケートから、「家族だけでは遠出できない」、「普段は入場料が高額で参加できない」などのお声があり、日常の親子でのふれあいの場が限られていることが分かりました。

・「親子パン教室」10 月 2 日（日）　場所：コミセンなかさと
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から 4 家族（作業台 1 台につき 1 家族）のみの募集とし、市広報誌への掲載や子育て家庭支援課の協力のもとチラシ配布を行いました。
申込期間（9/1～9/15）に参加希望家族が 14 組あり、抽選にて参加者を決定しました。

・「親子いちご狩り体験」2月26日（日）　場所：いちご園　フェリーチェ

定員30名10組程度として、市広報誌への掲載や子育て家庭支援課の協力のもとチラシ配布を行った結果、参加希望家族が22組あり、抽選にて参加者を決定しました。

③障がい福祉事業

□スポーツ大会、福祉交流事業

市内の福祉団体・施設と協働し、障がい者等がスポーツや交流事業を通して、体力の維持及び相互の親睦を図ることを目的に障がい者関係団体連絡協議会と連携し実施に向け開催の検討を行いましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。

□なかよし交流館事業参加協力

障がい児者が運動することによりそれぞれの目標を持ち生き生きと地域で生活できるようスポーツの振興と地域の活性化に寄与することを目的に事業実施に向け実行委員として会議に参加しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、作品展のみの開催となりました。

4月 2日(土)　童子川に春がきたよ！！※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

10月15日(土)「野洲の風に集う」スポーツ＆アート2022

※スポーツカーニバル　10/15（土）新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

なかよし作品展　　10/10（月）～10/16（日）開催

□サマースクール、スプリングスクール支援

野洲市障がい児サマースクール等運営委員会に参加し、障がい者（児）の理解に努めました。今年度は利用を希望される方よりも支援を希望される方の方が多く登録される傾向にありました。

内　容	期　間	参加職員数
サマースクール	8月1日(月)～8月18日(木) 新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染症拡大防止のため中止	－
スプリングスクール	3月28日（火）～3月30日（木）	－

④遺族援護事業〔財源：市補助〕

災害殉職者追悼法要の挙行と戦没者等の慰霊事業等事業助成を行いました。

・法要　「昭和28年災害殉職者追悼法要」

9月28日(水)　善福寺

・事業助成　・戦没者追悼事業助成金

・御上神社戦没者慰霊祭

・兵主大社戦没者慰霊祭

・忠魂碑維持管理費

・北墓地管理費

Ⅱ．地域生活を支える仕組みづくり　～安心して相談できる体制～

住み慣れた地域で、安心していきいきと暮らしていくためには、支援が必要な時に、必要な支援が素早く、的確に得られることが重要です。そのためには市民のニーズをなるべく早く正確に把握する仕組みや、市民が相談しやすい環境づくりが必要です。

社会福祉協議会は関係機関等と連携し、身近なところで気軽な相談から専門的な相談まで対応できるよう、ニーズに対応した情報提供や相談体制を整備し、支援を必要とする人が、必要とするサービスを適切に利用できる仕組みづくりに努めました。

１．断らない相談支援体制づくり

（１）総合相談事業の実施〔財源：市補助、自主財源〕

日常生活のあらゆる相談に応じるため、常設の相談窓口を設置し、電話や対面での相談に対応しました。必要に応じて関係機関やボランティア活動等の福祉活動とも連携しながら支援しました。

区　分	件数	区　分	件数
家計・食糧支援に関すること	14	子育てに関すること	7
地域の見守りに関すること	51	健康・医療に関すること	15
家族・近隣に関すること	35	生きづらさに関すること	39
ひきこもり支援に関すること	26	その他	130
計　317 件			

【主な相談内容】

・近隣住民とのトラブルについての相談
・仕事についての相談
・他者との関りを求めての相談

※継続的に相談をされる方も多く、ひとり一人に寄り添い、丁寧に話を伺うことを大切に相談業務に取り組みました。

（２）コミュニティーソーシャルワーカー（ＣＳＷ）の配置〔財源：市補助、自主財源〕

□小地域活動支援

・地域のつながりについて協議されている場(会議)に地域担当者が伺い、住民主体の取組に協力・支援を行いました。

・学区民生委員児童委員協議会定例会に地域担当者が出席し、地域の実情を把握するとともに、地域課題に対してのアプローチ方法を民生委員･児童委員の方と検討し、連携を取りながら課題解決に取り組みました。また、地域担当者会議・中学校区の圏域会議において各学区民生委員児童委員協議会定例会の情報を共有し、地域課題に対してどのように対応していくのか検討などを行いました。

（３）地域における生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業〔財源：市委託〕

①支援を行うべき対象者像やそのニーズ、それらに対応する社会資源の状況などの実態把握・地域におけるインフォーマル活動の活性化

内　容	調整・実施回数
住民ニーズ・支援機関アンケート調査・把握	5
座談会・話合いの場開催数	65
社協部門関連係によるニーズ把握	89
新たな取組への支援	11
既存団体強化支援	63
事業の開催	50
会議参加	243
その他相談等	142

②死後事務等に関する取り組みについて

地域福祉権利擁護事業の利用者において、親族がいない一人暮らし高齢者等課題のあるケースが増えており、今後の対応等について課題整理、協議への取り組みを始めました。

利用者が死亡した場合においても埋葬等、応急対応の死後事務が発生します。相続人がいる場合は相続人の対応になりますが、相続人がいない、または疎遠になっている場合、死後事務委任契約を行っていなくても、金銭管理を行っていた社協としての対応が必要になるため、利用者で身寄りのない、またはあっても支援が得られない状況である方を対象に死後に想定される課題をもとに、市関係機関や司法書士の法的な意見を伺いながら勉強会を行いました。

日　時	当事者属性	事例検討及び研修	検討メンバー
第 1 回 6 月 10 日（金）	90 歳代/女性	認知症の息子と母親の高齢者世帯	三久保司法書士 地域包括支援センター 市民生活相談課 社会福祉協議会
第 2 回 8 月 19 日（金）	60 歳代/男性	金銭管理ができない単身者世帯	三久保司法書士 地域包括支援センター 市民生活相談課 社会福祉協議会
第 3 回 9 月 16 日（金）	60 歳代/男性	20 年間ひきこもり状態から自立した単身者世帯	三久保司法書士 市民生活相談課 社会福祉協議会
第 4 回 10 月 14 日（金）	80 歳代/女性	生活保護受給で家族と疎遠の単身者世帯	三久保司法書士 市民生活相談課 社会福祉協議会
第 5 回 11 月 18 日（金）	70 歳代/女性	家族全員に障がいがある 4 人暮らしの世帯	三久保司法書士 市民生活相談課 社会福祉協議会

第 6 回 12 月 16 日（金）	70 歳代/女性	コミュニケーションに課題のある単身者世帯	三久保司法書士 地域包括支援センター 市民生活相談課 社会福祉協議会
第 7 回 1 月 20 日（金）	研修 講師： 三久保司法書士	「死後事務委任契約の実務（総論編）	三久保司法書士 地域包括支援センター 市民生活相談課 社会福祉協議会
第 8 回 2 月 10 日（金）	研修 講師： 三久保司法書士	「死後事務委任契約の実務契約解説（総則編）	三久保司法書士 市民生活相談課 社会福祉協議会
第 9 回 3 月 17 日（金）	研修 講師： 三久保司法書士	「死後事務委任契約の実務契約解説（各論編） ・1 年間の振り返りとまとめ	三久保司法書士 地域包括支援センター 滋賀県社会福祉協議会 社会福祉協議会

※「死後事務」について･･･
亡くなった後の事務的な手続きである。死後の手続きとしては、①役所、関係機関への届け、②葬儀・埋葬手続き、③債務の返済、④遺品整理、住まいの処分、⑤各種サービスの解約、等がある。これらは遺言で依頼できる内容ではなく、死後の手続きを行うには、死後事務委任契約を作成するなどの方法がある。

（4）参加支援事業〔財源：市委託〕

既存の各制度の支援では対応できない本人や世帯のニーズ等に対応するため、利用者のニーズや課題など丁寧に把握し、本人と支援メニューのマッチングを行いました。

対象者数	9 名
支援実施回数	41 回
プラン件数（自立支援機関共通）	5 件
終結件数	1 件

（5）地域づくり・アウトリーチ等を通じた継続的支援事業〔財源：市委託〕

各種会議や関係機関とのネットワークに参加することで潜在的な相談者を見付け、その相談者の困りごとを把握し、支援を必要とされている方に必要な支援がつながるよう働きかけました。

また、関係者や地域の方が把握されている情報や新たに発見された情報がスムーズに社協・市役所に届けてもらえるよう各種会議等参加時における地域づくり・アウトリーチ等を通じた継続的支援事業の紹介やホームページ、チラシ等を活用しての啓発に取り組みました。

対象者数	16 名
支援回数	65 回
各種会議、ネットワークへの参加数	64 回

主な内容

・個別相談・面談・個別地域ケア会議・不登校親の会・COZY ROOM～野洲のかたすみ
・アルプラザ野洲地域交流拠点「おとな Re」ちょこっと相談会

□ひきこもり一斉電話相談への参画

県内９団体が協働して一斉電話相談を実施。野洲市社協も参画し、相談窓口を設けました。

開催日	実施状況
9 月 15 日（木）～16 日（金）	野洲市社協としては 15 日のみ 相談総数 10 件・野洲 0 件
2 月 9 日（木）～10 日（金）	野洲市社協としては 9 日のみ 相談総数 10 件・野洲 0 件

□ひきこもり支援を考えるフォーラムの開催

ひきこもり状態にある人や、制度の狭間で孤立しがちな人たちへの支援およびその家族への支援が届くように、一人ひとりの自分らしい生き方を応援し、ひきこもり状態にある人への理解と必要な支援を広げるためにフォーラムを開催しました。

開催日	3 月 12 日（日）　13:30～15:30
講　演	「長期高齢化するひきこもり者に家族や支援者は何ができるか ～当事者から語る８０５０問題～」　　ぼそっと池井多氏
主　催	湖南地域ひきこもり者支援フォーラム実行委員会 （守山市社会福祉協議会・栗東市社会福祉協議会・草津市社会福祉協議会 ・若者自立支援ボランティアグループ居場所の会「レリーフ」 ・滋賀県社会福祉協議会・野洲市社会福祉協議会）
会　場	湖南広域消防局　北消防署
参加者	88 名＋実行委員 10 名

□ひきこもり家族教室の開催

ひきこもりについて悩んでおられるご家族・ご本人の社会的孤立を防ぐために、同じ悩みを抱える家族同士が顔を合わせ、語りあい、一息つける場として家族会が県内で開催されています。しかし、ひきこもり者の家族の中には、自分が住んでいる地域では相談がしづらい方もおられるため、保健福祉圏域を越えて行きやすさが感じられる場が求められています。

保健福祉圏域を越えた多様な出会いの場を生み出し、誰もが利用しやすく、安心して参加ができ、そして互いに共感し、自己肯定感を感じることができる場として県社協が開催された家族教室のサテライト会場として共催しました。

内　容	第１回　ひきこもり家族教室
開催日	11 月 13 日（日）
会　場	野洲市北部合同庁舎２階　会議室①（サテライト会場①） （本会場：男女共同参画センター／サテライト会場　４会場　／オンライン）
参加者数	62 名（野洲会場 11 名＋スタッフ２名）
テーマ 講　師	「ひきこもり　家族にできること～ひきこもり経験者の立場から～」 ひきこもり UX 会議　代表理事　林　恭子さん
主催・共催	県社協・市社協（野洲・彦根・長浜・近江八幡）・さわらび福祉会・虹の会

内　容	第２回　ひきこもり家族教室
開催日	３月 19 日（日）
会　場	野洲市北部合同庁舎２階　会議室①（サテライト会場①） （本会場：フェリエ南草津／サテライト会場５会場／オンライン）
参加者数	56 名（野洲会場 12 名＋スタッフ３名）
テーマ 講　師	「本人の生きる力を支える家族の役割」 特定非営利活動法人　KHJ 全国ひきこもり家族会連合会 本部事務局長 家族支援士　公認心理士ピアサポーター　上田理香氏
主催・共催	県社協・市社協（野洲・湖南・彦根・長浜・高島）・さわらび福祉会・虹の会

内　容	出張ひきこもり家族教室
開催日	３月 20 日（月）
会　場	Cozy room　野洲のかたすみ
参加者数	14 名
講　師	特定非営利活動法人　KHJ 全国ひきこもり家族会連合会 本部事務局長 家族支援士　公認心理紙ピアサポーター　上田理香氏
主催・共催	県社協・野洲市社協
毎月野洲のかたすみで開催している「ほっと♡time」に、前日の家族教室で講演をいただいた上田氏を迎えて、参加者の思いに耳を傾けていただきました。本人と親の関係以外にも、夫婦・兄弟との関係などそれぞれに抱えている悩みや思いを出し合い、話を聴いてもらえる安心できる場の大切さを改めて感じました。	

＊支援関係機関との連携体制構築について

・ひきこもり支援をされている方とのつながりで空きスペースを借りることができ、ひきこもり支援親の会を定期に開催することができました。

・居場所への関係機関の方の参加も多く、情報共有等連携を図りました。

・県主催のひきこもり一斉電話相談会に共催。当日、当市に直接相談はありませんでしたが前年度開催分のチラシを持参され、やっと相談する気になったと家族から相談がありました。

相談するにはタイミングや勇気が必要であり、まずは継続して地域に相談窓口があることを知ってもらうことが重要となります。

＊分野横断的に取り組めるようになったこと

・地域の空き家の活用の相談から地域の居場所づくり・不登校親の会の開催につながりました。

・商業施設のスペースの一角を地域の活動発信・交流拠点として活用検討中とのことで地域貢献、エコサポ・リユースの推進について協力の依頼があり、ボランティア・団体等活動紹介や出張型のちょこっと相談会として活用を開始しました。

２．必要な福祉サービスを届ける仕組みづくり

（１）地域福祉権利擁護事業〔財源：市補助、県社協補助〕

認知症高齢者、知的障がい・精神障がいのある方で判断能力が不十分な方を対象に、福祉サービスの利用手続きや利用料の支払い、日常的な金銭管理等の援助を行いました。

	認知症高齢者等		知的障がい者等		精神障がい者等		その他		合計	
	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3
初回相談件数（問合せ含）	43	35	7	5	16	11	2	1	68	52
相談援助件数	1,255	1,594	798	827	3,584	2,823	239	326	5,876	5,570
契約締結件数	13	6	2	2	7	5	1	0	23	13
契約終了件数	9	9	4	3	5	6	0	3	18	21
実利用人数	25	21	18	20	34	32	7	6	84	79

《契約締結件数内訳》

		認知症高齢者等		知的障がい者等		精神障がい者等		その他		合計	
		R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3
在宅		10	5	0	1	6	4	1	0	17	10
施設		2	0	0	0	0	1	0	0	2	1
病院		1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ		0	0	2	1	1	0	0	0	3	1
生保再掲	在宅	7	1	0	1	1	2	1	0	9	4
	施設	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	病院	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

《契約終了件数内訳》

	認知症高齢者等		知的障がい者等		精神障がい者等		その他		合計	
	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3
本人希望	0	0	0	1	0	1	0	2	0	4
死亡	6	6	1	0	2	2	0	0	9	8
後見等へ移行	3	3	1	1	1	2	0	1	5	7
その他(転居他)	0	0	2	1	2	1	0	0	4	2
生活保護（再掲）	4	2	1	0	1	3	0	1	6	6

□契約判定審査会

開催日	審査件数	開催日	審査件数	開催日	審査件数
4月 7日(木)	2件	9月13日(火)	1件	11月24日(木)	1件
4月19日(火)	1件	9月22日(木)	1件	12月23日(金)	1件
4月22日(金)	1件	9月27日(火)	1件	1月18日(水)	1件
5月16日(月)	2件	10月12日(水)	1件	2月 7日(火)	1件
6月30日(木)	2件	10月14日(金)	1件	2月27日(月)	1件
7月27日(水)	1件	10月18日(火)	1件	3月 7日(火)	1件
8月15日(月)	1件	10月31日(月)	1件	3月30日(木)	1件
計 21回 ／ 24件					

□解約審査会

開催日	審査件数	解約希望理由
7月 5日（火）	1件	自己管理を希望
7月26日（火）	1件	自己管理を希望
計　2回　／　1件（同一ケースのため）		

＊日常的金銭管理サービスの支援のみに留まらず、その方が抱える様々な不安や困りごとについて、支援者と連携しながら支援しました。
・DVの関係で市外に住むことになったケース・・・市役所、計画相談支援事業者、両親
・トラブルから転居を繰り返しているケース・・・市役所、サービス提供事業者

＊初回の相談受付から初回面談までの待機期間が長くなっていることが課題になっていたので、対応手順の見直しを行いました。

（２）福祉資金・生活福祉資金貸付事業〔財源：県社協補助、市補助、善銀〕

経済的な問題を抱えている方の生活を支援し、世帯の自立を図るため資金の貸付相談を行いました。

区　分		令和4年度	令和3年度
相談件数		189件	534件
県社協生活福祉資金貸付件数（申請件数）	緊急小口資金特例貸付	40件（37件）	152件（152件）
	総合支援資金特例貸付	41件（37件）	168件（157件）
	総合支援資金特例貸付（延長）	－	44件（29件）
	総合支援資金特例貸付（再貸付）	－	205件（174件）
	教育支援資金	7件（7件）	3件（3件）
	緊急小口資金	3件（3件）	0件（1件）
	福祉費	3件（3件）	0件（0件）
	不動産担保型生活資金	0件（0件）	0件（0件）
市社協小口資金貸付件数(申請件数)		39件（40件）	37件（37件）

□貸付審査会　　43件

＊新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例貸付は、受付期間の延長を繰り返して来ましたが、令和4年9月末で全て終了しました。昨年度に比べると今年度の件数は減少していますが、断続的に相談・申請がありました。特例貸付終了後は、本則貸付による対応をしています。

＊令和5年1月から始まる特例貸付償還について、令和4年3月までの申請分928件に対して、令和4年6月に償還開始の案内が発送され、順次、償還免除申請と償還用口座登録が始まりました。償還免除決定は380件となり、約41%にのぼります。また償還が難しい方から償還猶予に関する相談も受け付け、27件の猶予が決定しています。

償還猶予理由内訳

区　分	件数	区　分	件数
病気療養中	7	失業又は離職中	2
収入減少や不安定就労	6	多重債務で債務整理の可能性がある	3
公共料金等の滞納が続いている	6	その他 同程度の事由で償還困難	3

＊市社協小口資金貸付は、貸付 39 件のうち、特例貸付利用世帯が 19 件と約半数を占めています。特例貸付利用後も様々な課題を抱えておられる方の相談に対応しました。

＊相談者の生活状況を把握し、相談内容に応じた適切な支援ができるよう、各関係機関と連携をとりながら、今後も世帯の自立を目指して相談者の抱える様々な生活課題に対応していきます。

（３）ファミリー・サポート・センター事業〔財源：市委託〕

子育て家庭の仕事と育児の両立を地域で支援するため、さらに育児に対する不安のある保護者や地域において孤立しがちな保護者に対して支援し、子どもの健やかな成長を見守ることを目的として、子育てを援助したい人と子育ての援助を受けたい人が、会員になってお互いに助けあえるように相談・調整して支援を行いました。

野洲市子育て支援センターで、ファミサポの紹介や活動時の預かりの場として利用するなどして、連携させていただきました。

□会員数

区　分	令和 4 年度	令和 3 年度
おねがい会員	289 名	264 名
まかせて会員	92 名	104 名
どっちも会員	50 名	61 名
合　計	431 名	429 名

□会員事前打ち合わせ　　146 回　　うち、土日祝の打ち合わせ 27 回

□ファミサポ登録会　5 回　（交流会やアルプラ相談会等にて）

□ファミサポ紹介　子育て支援センター　6 回　、アルプラ野洲　　3 回、
地域の子育て支援団体等　7 回

□活動別事業報告

活　動　内　容	令和 4 年度	令和 3 年度
保育所・幼稚園の登園前の預かり及び送り	0 件	0 件
保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	22 件	47 件
保育所・幼稚園の送迎	845 件	635 件
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり		0 件
学童の登校前の預かり		123 件
学童の登校前の預かり及び送り	22 件	
学童の送迎	16 件	2 件
学童の迎え及び放課後の預かり	0 件	3 件
学童保育所の朝の預かり及び送り	3 件	14 件
学童保育所終了後の送迎	281 件	461 件
学童保育所の迎え及び帰宅後の預かり	3 件	7 件
保育所・学校等休み時の援助	14 件	57 件
保育所等施設入所前の援助	0 件	4 件

保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	8 件	0 件
保護者等の求職活動中の援助	1 件	0 件
保護者等の他の子どもの学校行事の場合の援助	7 件	5 件
保護者等の外出の場合の援助	66 件	40 件
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	0 件	12 件
子どもの病後時の預かり	0 件	0 件
習い事の送迎	145 件	112 件
その他	122 件	8 件
計	1,555 件	1,530 件

□講習会の開催

	開催日	内容･テーマ	参加者数
第 1 回	9 月 13 日(火)	「旅をあきらめない！介護旅行の世界」 ～ユニバーサルツーリズムの普及に向けて～	16 名 （会員 2 名参加）
第 2 回	10 月 7 日(金)	「コミュニケーションエラーはなぜ起こる？」 ～無意識の思い込み「あぁ勘違い、、、」～	35 名 （会員 2 名参加）
第 3 回	11 月 8 日(火)	「〇〇でいい？そう！私はこんな防災がいい！」 ～程よい距離感がポイントの新しい防災のハナシ～	32 名 （会員 3 名参加）
第 4 回	11 月 10 日(木)	日赤幼児安全法①事故の予防と手当	8 名
第 5 回	11 月 17 日(木)	日赤幼児安全法②病気と看病の仕方	8 名
第 6 回	11 月 24 日(木)	日赤幼児安全法③心肺蘇生・AED の使い方	10 名
第 7 回	11 月 21 日(月)	「アロマでリラックス♡」 ～アロマで癒される　レスキュークリームづくり～	8 名 託児ボランティア２名 託児子ども(乳児) 1 名
第 8 回	~~12 月 5 日(月)~~ 変更 2 月 20 日(月)	「和やかで　楽しいひととき❀癒しのハーバリウムづくり」 ～忙しい日常を忘れて作る喜び、幸せ感じませんか～	10 名 託児ボランティア 1 名 託児子ども(乳児)1 名
第 9 回	12 月 9 日(金)	「認知症でも安心して暮らせる地域のために」～認知症サポーター養成講座～	31 名 （会員 3 名参加）
第 10 回	1 月 18 日（水）	乳幼児期からの性のおはなし 「いのちは　どこから！」	10 名
第 11 回	2 月 21 日(火)	「地域実践活動報告」 ☆空き家（豆吉）を地域の居場所へ ☆学校ボランティアと地域のつながり	21 名 （会員 5 名参加）

□交流会の開催

	開催日	内容･テーマ	参加者数
第 1 回	6 月 25 日(土)	「人形劇＆子ども用品交換・譲渡会」 人形劇サークル　みっくす　どーなつさん	21 名 大人 13 名､子ども 8 名
第 2 回	9 月 7 日(水)	まかせて・どっちも会員懇談会① ヒヤリハット･アレルギーミニ講習会「エピペン」	8 名
第 3 回	2 月 18 日(土)	「子ども用品譲渡会（リユース会）＆子育て支援団体さん等紹介」・ファミサポ登録会	延べ 50 名 8 団体紹介
第 4 回	3 月 3 日(金)	まかせて・どっちも会員懇談会② 一年を振り返って、ヒヤリハット、 車のサポートについて	5 名

□会報発行：会員対象にファミサポの情報を掲載した会報を発行(5・8・R5.2 月)　3 回

＊今年度も感染症の影響等でサポートのキャンセルが多数ありましたが、必要な会員へのサポートは感染予防への対策を十分講じたうえで、活動を継続することができました。

＊野洲市子育て支援センターや子育て支援団体等の活動時に伺い、ファミサポの紹介やホームページやＦａｃｅｂｏｏｋで紹介・周知したことで、ファミサポを知って入会される方が増えました。困っておられる方のサポートや安心につながりました。

＊感染症補償制度や車の補償保険に加入し、まかせて会員に安心してサポートしていただけました。 今後の課題としては、送迎にかかるガソリン代がまかせて会員の負担となっているため、アンケート実施（R5.2 月）の結果や近隣市町の情報を元に、令和 5 年度中に実費徴収の実施へ検討を進めています。

＊今後も必要とされる方に情報が届くように、ファミサポの良さ・活動についてや子育て情報等を発信し、安心して利用できるように、まかせて会員・どっちも会員の確保に努めていきます。

（４）障がい者相談支援事業

①一般相談支援〔財源：市委託〕

障がいのある人の福祉に関する様々な問題について相談に応じ、必要な情報の提供、障がい福祉サービスの利用支援等を行うほか、権利擁護のために必要な援助も行いました。　（単位:件）

相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福祉サービスの利用等に関する支援	188	162	156	162	177	156	152	149	142	169	154	134	1,901
就労に関する支援	5	4	5	2	4	6	8	15	7	9	6	1	72
社会参加･余暇支援活動に関する支援	2	5	3	5	1	6	5	3	7	4	1	2	44
保育・教育に関する支援	2	3	2	4	0	3	4	6	1	5	2	1	33
障がいや症状の理解に関する支援	138	128	112	125	128	137	126	105	120	147	141	121	1,528
健康・医療に関する支援	28	33	23	27	30	28	29	23	25	45	35	20	346
不安の解消・情緒不安に関する支援	113	76	67	73	70	67	82	52	36	56	37	34	763
家族関係･人間関係に関する支援	75	68	41	34	53	36	20	11	22	31	28	13	432
家計・経済に関する支援	5	7	15	2	9	16	28	2	12	13	3	4	116
生活技術に関する支援	6	13	6	15	14	29	30	7	8	12	9	9	158
権利擁護に関する支援	1	0	0	0	3	0	6	2	1	2	1	0	16
その他	67	82	96	68	97	66	118	118	97	111	107	103	1,130
計	630	581	526	517	586	550	608	493	478	604	524	442	6,539

※１件の相談に複数の相談内容が含まれている場合は、それぞれの区分に重複してカウントしています。

□(相談支援利用者(児)の区分別人数)

区分	身体	重症心身	知的	精神	発達	高次脳機能	難病	その他	合計
障がい者	37	2	141	34	3	2	3	0	222
障がい児	3	1	42	2	23	0	0	0	71
計	40	3	183	36	26	2	3	0	293

(区分の重複あり／実人数 264 人)

□会議への参加、訪問来所の件数

(会議への参加件数)

区分	件数
ケース会議	234
その他の会議	270
合　計	504

(訪問・来所の件数)

区分	件数
訪問件数	701
来所件数	78
合　計	779

②計画相談支援(特定相談支援事業・障がい児相談支援事業)〔財源：事業報酬〕

サービス等利用計画についての相談・作成などの支援が必要と認められる場合に、障がい者(児)の自立した生活を支え、各々が抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、本人・ご家族の希望を確認しながらきめ細かく支援しました。また一人一人の特性にあったサービスが提供されているか、他に課題がないか定期的なモニタリングを行いました。

(単位:件)

区　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約件数	265	263	264	264	264	261	260	263	261	260	263	265	－
利用計画	41	26	14	16	24	21	24	34	23	26	20	31	300
ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ	76	68	68	80	63	84	76	58	67	80	63	77	860
担当者会議	42	33	40	30	19	33	27	31	19	28	48	24	374

＊　今年度も新型コロナウイルス感染症への対策をしながらの対応でありましたが、支援が途切れることなく対応することができました。感染対策をしての対応となったことから、電話相談中心の対応となりましたが、利用者には、柔軟に対応ができました。電話相談での相談件数は、年々増加しており、障がいの特性から１日に何度も電話されるケースが増えている傾向があります。

また、今年度は、野洲市から他市に転出されるケースが多く、転出先の計画相談事業所との調整に時間をかけて、転出先で安定した生活が送れるように支援しました。その反対に、他市から転入されるケースもあり、転入後に福祉サービスが、円滑に利用できるように関係機関とも連携しながら支援を行いました。また、養護学校との進路についての懇談会においては、卒業後の進路について懇談会を通じて情報共有をし、卒業後の支援を行いました。現在福祉サービスを利用されていない方についても、今後のサービス利用について相談することで、安心して生活ができるように支援を行いました。虐待ケースにおいて、施設からグループホームでの生活に向けての支援をすることやひきこもり傾向のケースについて、関係機関と連携しながら、社会生活ができるよう支援を行いました。

今後について、困難ケースにおいては関係機関と連携を図りながら支援をしていきます。

（５）居宅介護支援事業〔財源：事業報酬〕

介護保険サービスの利用者(要介護１以上)及び家族等からの相談に介護支援専門員(ケアマネジャー)が応じ、利用者及び家族の希望や心身の状態を考慮し、適切なサービスが利用できるように、市・事業所・施設等との連絡調整を行い、居宅サービス計画の作成を行いました。

(月別計画件数)

年度＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
令和４年度	82	84	80	79	74	80	82	82	82	83	82	85	975	81.3
令和３年度	80	79	75	74	77	84	83	78	73	77	77	77	934	77.8

(介護度別延べ件数)

年度＼区分	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	合計
令和４年度	334 34.3%	298 30.6%	204 21.0%	93 9.5%	46 4.6%	975 100%
令和３年度	412 44.1%	256 27.4%	161 17.2%	67 7.1%	39 4.2%	935 100%

・ケアマネジャー3名で業務を担当し、今年度は新規契約35名(家族依頼　17名、野洲市地域包括支援センター紹介　15名、要支援から移行3名）の受け入れが出来ました。修了者は19名でした。
・介護度別では要介護1･2の方が多く、64.9%を占めています。

□介護予防ケアマネジメント・介護予防支援事業 〔財源：市委託〕
野洲市地域包括支援センターから委託を受け、要支援1･2と認定された方へのプランを作成しました。

（月別計画件数）

年度＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
令和4年度	7	9	9	9	9	9	9	9	8	9	7	8	102	8.5
令和3年度	4	4	4	3	3	3	4	4	4	5	5	6	49	4.1

（介護度別延べ件数）

年度＼区分	要支援1	要支援2	合　計
令和4年度	46 45.1%	56 54.9%	102 100%
令和3年度	7 14.3%	42 85.7%	49 100%

□介護支援専門員実務研修実習受入れ
今年度は該当者なし

□居宅介護支援担当職員研修

開催日	研　修　名	主　催
5月31日(火)	難病講習会　病気の為の福祉制度の利用	滋賀県難病医療連携協議会
6月18日(土)	滋賀県多職種連携後援会 ・当院で行っている在宅医療と多職種連携 ・在宅医療でも活かせる褥瘡治療のポイントなど ・滋賀県の在宅医療と皮膚疾患について	滋賀県健康医療福祉部
8月17日(水)	高齢者介護事業所感染症対策研修会	滋賀県南部健康福祉事務所
9月21日(水)	第1回事例検討会	野洲市居宅介護支援事業所
10月28日(金)	中主圏域包括ケア会議第二層協議体の開催について	野洲市高齢福祉課・野洲市社会福祉協議会
2月22日(水)	難病対策における災害対策と滋賀県モデルについて	滋賀県難病医療連携協議会
3月16日(木)	「適切なケアマネジメント手法」普及セミナー	日本総合研究所

□野洲市居宅介護支援事業所連絡会議

開催日	研　修　内　容	参加者数
4月20日(水)	高齢者・福祉・介護保険窓口の再編について	1名
5月18日(水)	高齢者の口腔ケア	1名
6月15日(水)	高齢者の栄養　プランに活かすポイント	1名
9月21日(水)	事例検討会	1名
11月10日(木)	高齢者に多い眼科疾患について	2名
2月15日(水)	野洲市くらし支えあい条例「見守りネットワーク協定」のご案内	1名
3月15日(水)	高齢者の親と中高年のひきこもりの理解と支援のポイント」	2名

＊昨年に引き続き新型コロナ感染症陽性・濃厚接触者など、利用中のサービス利用不可となる事例が有りました。マンパワー不足で代替えサービス提供困難な状況が変わらずありましたが、サービス調整し在宅療養期間を無事終える事が出来ました。日常業務では、各関係機関との連携を図りつつ、地域福祉権利擁護事業や障がい者相談支援事業の担当者と組織内で連携し、個別の課題に対しそれぞれの立場から同じ目標に向かって支援しました。

□令和４年度湖南圏域病院在宅連携検討会議

開催日	内　　容	参加者数
7月27日	外来-地域連携にかかる検討（必要と感じた事例提供） 「湖南太郎さんの安心ロード」改定版（素案作り）	1名
10月27日	「湖南太郎さんの安心ロード」改定版（素案最終検討会議）	1名

地域で安心して在宅療養できるよう、入退院-在宅時の連携のみでなく「湖南太郎さんの安心ロード：入退院支援における病院とケアマネジャーの連携」を、改定しました。外来通院時から支援が必要な人を早期に発見・介入することが出来るよう外来-在宅について湖南圏域の市町村高齢福祉課や病院及び包括支援センター等のケアマネジャーで検討しました。

（６）車椅子貸出事業〔財源：善銀〕

日常の利便性を図ることを目的とし一時的に車椅子を必要とする人への貸し出しや福祉体験学習の一環として学校への車椅子の貸し出しを実施しました。

また、貸出時にアセスメントを行うことで、適切なサービス利用相談を行い、関係者に繋ぐことが出来ました。

今後、自治会・サロン等への貸し出しにつながるよう、自治会のニーズ把握・サロンでの移動支援等提案などが必要であると考えます。

【貸出先・延べ貸出台数】

	個人	学校	自治会･ｻﾛﾝ	その他	計
令和4年度	1,489台	378台	0台	108台	1,975台
令和3年度	1,089台	507台	0台	23台	1,619台

（７）学童保育所運営事業〔財源：市指定管理〕

保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、放課後等で適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全育成を図りました。

□通常保育（在籍児童推移）　（単位:名）

学童保育所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北野第1	66	67	68	68	68	64	64	64	64	62	62	62
北野第2	66	68	68	68	68	64	63	63	63	63	63	58
北野第3	62	60	62	65	64	61	56	56	55	56	56	56
北野第4	64	62	61	61	61	56	52	52	51	50	50	49
祇王第1	37	38	38	39	39	38	38	38	38	39	39	40
祇王第3	38	37	35	37	37	36	36	36	34	34	34	34
祇王第4	42	40	40	40	39	37	36	36	37	37	35	35
祇王第5	37	37	37	36	36	35	34	34	33	32	32	32
祇王第6	36	37	37	39	39	36	35	35	35	35	34	34
篠原第1	61	61	61	62	60	52	50	50	48	49	48	46
篠原第2	25	25	25	25	25	25	23	23	23	23	23	23
中主第1	46	47	47	48	47	47	44	44	43	42	39	39
中主第2	41	41	41	37	36	35	34	34	33	33	32	32
中主第3	57	56	56	57	57	50	50	50	51	51	51	51
中主第4	52	52	53	52	52	47	46	46	47	47	47	47
三上第1	31	31	29	29	29	26	26	26	26	26	25	24
三上第2	32	33	33	32	32	28	27	27	25	24	24	22
野洲第1	45	45	45	45	45	44	44	44	44	44	44	44
野洲第2	47	47	47	47	46	44	43	43	43	43	42	41
野洲第3	44	43	43	43	42	38	36	36	35	34	34	33
野洲第4	48	48	48	46	45	37	35	35	35	35	34	33
野洲第5	42	42	42	42	41	36	36	36	37	36	35	36
野洲第6	41	38	41	38	36	30	30	30	30	30	29	29
野洲第7	42	42	42	41	39	37	38	38	38	38	38	38
合計児童数	1,102	1,097	1,099	1,097	1,083	1,003	976	976	968	963	950	938
前年児童数	1,030	1,027	1,021	1,011	1,001	938	924	911	896	886	870	862
前年比	72	70	78	86	82	65	52	65	72	77	80	76

※祇王第２学童保育所は、利用者数を勘案して閉所しています。

□土曜保育（在籍児童推移）

学童保育所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北野第3･4	54	52	48	50	49	51	48	42	48	46	42	42
前年児童数	38	35	32	35	31	35	34	34	34	38	33	34
前年比	16	17	16	15	18	16	14	8	14	8	9	8

保育場所　北野第３・４学童保育所（合同保育）

□学童保育所運営協議会

学童保育所運営に関わる内容について報告や課題の協議を行いました。

（行政担当、小学校、民生委員･児童委員、自治会、保護者代表、指導員代表にて委員構成）

開催日	協議・報告内容
7月14日(木)	・令和4年度 野洲市学童保育所入所児童の状況について ・令和4年度 学童保育所夏季保育における昼食提供(試行)について ・令和4年度 学童保育所夏季保育の予定について
1月19日(木)	・令和5年度 野洲市こどもの家(学童保育所)入所申請状況について ・野洲市こどもの家(学童保育所)の夏休み昼食導入の結果について ・令和4年度市内学童保育所の活動紹介について
3月16日(木)	・令和5年度 野洲市こどもの家(学童保育所)入所状況について ・令和5年度 野洲市こどもの家(学童保育所)利用施設の状況について ・令和5年度 学童保育所における感染症対策の変更について

＊会議内容については、会議録をホームページに掲載し、広く市民に周知を図りました。

□学童保育所職員研修

開催日	研修内容	参加者
6月6日（月）	人権研修スタートダッシュ～人権の基礎・基本～	10名
6月22日～24日(延べ2日)	保育交流研修（新人研修）	11名
7月4日（月）	保育交流研修（新人研修）	8名
6/25～9/23（延べ4日）	滋賀県放課後児童支援員資質向上研修Aコース	2名
7/10～9/23（延べ5日）	滋賀県放課後児童支援員資質向上研修Bコース	3名
7/10～9/23（延べ5日）	滋賀県放課後児童支援員資質向上研修Cコース	2名
7月5日､6日､7日	普通救命講習	28名
8月8日（月）	園・学校等における食物アレルギー対応の実際（ZOOM）	1名
9月11日（日）	発達障がいのある人たちの理解と支援	4名
10月5日、10月14日	滋賀県放課後児童クラブにおける施設長研修	6名
10/29～12/4(延べ4日)	滋賀県放課後児童支援員認定資格研修（北部会場）	5名
12/10～ 2/4(延べ4日)	滋賀県放課後児童支援員認定資格研修（南部会場）	6名
11月16日（水）	滋賀県放課後児童クラブ事故防止研修	6名
11月22日（火）	野洲市発達支援センター「どっちに向いて進む進路・針路」	9名
2月8日～15日(延べ8日)	人権研修「職場の人権気づきポイント」	116名
2月8日(水)	しがこども他県活動実践交流会（ZOOM）	2名
2月9日(木)	地域のおける防災教育に関する研修会（ZOOM）	2名
2月9日(木)	令和4年度災害から子どもを守る研修会（ZOOM）	5名
2月19日(日)	滋賀県小児糖尿病勉強会（ZOOM）	3名

□野洲市こどもの家(学童保育所)入所案内説明会

・令和5年度学童保育所の入所申込みについての説明会を開催しました。

＊開催日：10月23日(日)　コミセンしのはら　大ホール

篠原、祇王、野洲小学校区の新規入所希望者

参加者32名（保育9名）

＊開催日：10月30日(日)　コミセンなかさと　大ホール

中主、北野、三上小学校区の新規入所希望者

参加者65名（保育16名）

□野洲市学童保育所入所準備説明会

・令和５年度新規利用者を対象に、学童保育所での生活や注意事項等を「入所のしおり」をもとに説明する機会として準備説明会を開催しました。

＊開催日：2 月 19 日(日)　コミュニティセンターきたの　大ホール
祇王、北野、三上学区の新規利用者
参加者 66 名（保育 17 名）

＊開催日：2 月 26 日(日)　コミュニティセンターひょうず　大ホール
野洲、中主、篠原学区の新規利用者
参加者 44 名（保育 18 名）

□緊急情報一斉メール配信システム

・学童保育所の緊急情報のメール配信を実施しました。

感染症関連

	開催日	タイトル	内　容
1	4 月 3 日(日)～ 5 月 20 日(金)	新型コロナウイルス感染症による緊急情報発信 ・臨時閉所　18 件 ・濃厚接触者情報　18 件	新型コロナウイルス感染症にかかる学童保育所臨時閉所の連絡と濃厚接触者調査結果の連絡
2	7 月 20 日(水)～ 8 月 30 日(火)	新型コロナウイルス感染症による緊急情報発信 ・早期迎え　47 件 ・臨時閉所　7 件	新型コロナウイルス感染症の陽性者確認による学童保育所の対応 基本的には、夜間保育(午後 6 時以降の延長保育)取止めと早期迎え依頼、但し複数児童に陽性者が確認された場合は臨時閉所の措置
3	9 月 1 日 (木)～ 3 月 23 日(木)	小学校学級閉鎖に伴う学童保育所の対応　23 件 新型コロナウイルス感染症による緊急情報発信 ・臨時閉所　1 件 ・濃厚接触者情報　58 件	小学校学級閉鎖等に伴う学童保育所の対応 新型コロナウイルス感染症にかかる学童保育所臨時閉所の連絡と濃厚接触者調査結果の連絡

災害関連

	1 月 25 日（水） 1 月 26 日（木）	学童保育所の臨時閉所 学童保育所の開所	大雪警報の発令と大規模な積雪の影響による学童保育所の臨時閉所の連絡と翌日の通常開所の連絡

□学童保育所の昼食提供

・保護者の負担軽減を図るため、夏休み期間中（8 月に 3 回）に、試行的に昼食提供を実施しました。

・弁当提供：フレンドマート中主店

・弁当配送：日本通運滋賀支店

・利用状況

学区：学童保育所	児童数	8 月 1 日	8 月 8 日	8月22日	3 日平均	利用率
北野第 1～4 学童保育所	260	96	96	92	94.7	36.4%
祇王第 1～6 学童保育所	188	41	48	46	45.0	23.9%
三上第 1・2 学童保育所	61	24	27	25	25.3	41.5%
篠原第 1・2 学童保育所	85	10	12	14	12.0	14.1%
中主第 1～4 学童保育所	191	46	64	53	54.3	28.4%
野洲第 1～7 学童保育所	294	85	96	91	90.7	30.8%
計	1,079	302	343	321	322.0	29.8%

□学童保育所在籍児童の福祉・体験活動

・学童保育所事業の一環として、児童の地域福祉や体験活動への参加機会を作りました。

＊6 月 14 日　ひまわりプロジェクト(中主第 1-4 学童保育所・1 年生児童)」

赤十字奉仕団さんと一緒に学童保育所施設前のプランターにひまわりの苗植えを活動を行いました。(福島復興プロジェクト)

＊7 月から 3 月　特別養護老人ホームぎおうの里へ児童作品展示

7 月 1 日　野洲第 1～7 学童保育所　　12 月 1 日　北野第 1～4 学童保育所

9 月 1 日　三上第 1.2 学童保育所　　2 月 1 日　中主第 1～4 学童保育所

10 月 3 日 篠原第 1.2 学童保育所　　3 月 1 日　祇王第 1～6 学童保育所

令和 3 年度に引き続き、令和 4 年度も「ぎおうの里」の展示スペースに児童作品を展示することで、施設との交流活動を実施しています。

今年度は、「ぎおうの里」から、お礼として子どもたちに図書の寄付をいただきました。

いただいた図書は、各学童保育所で指導員が読み聞かせするなどして紹介しました。

＊コミュニティセンターしのはら「トレトレ＆文化祭」参加　篠原第 1.2 学童保育所
11 月 6 日　舞台発表会「ハンドベルクラブ」

□利用者数の推移と学童保育所数

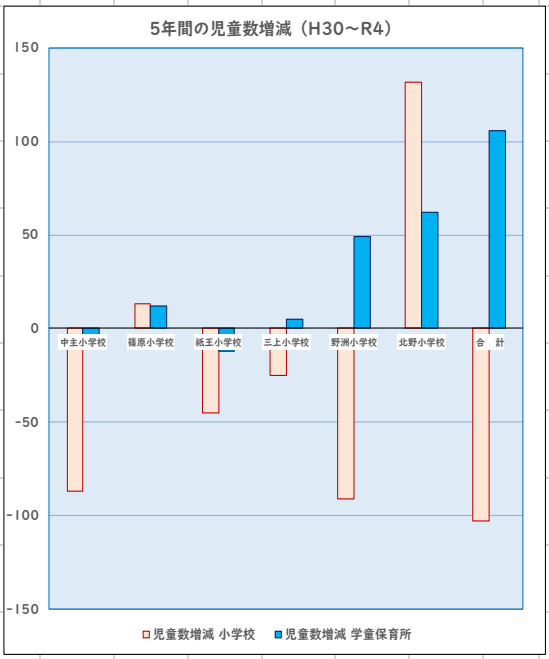
利用児童・運営推移(各年 5 月 1 日現在)

年度	利用児童	開設	備考
平成 30 年度	994 人	23 学童保育所	
令和元年度	1,024 人	23 学童保育所	
令和 2 年度	1,066 人	24 学童保育所	(※篠原第 2 学童保育所を開所)
令和 3 年度	1,027 人	24 学童保育所	
令和 4 年度	1,097 人	24 学童保育所	(※北野小学校第 1.2 音楽室通年利用)

＊学童保育所においては、令和 4 年度も 1,000 名を超える利用児童があり、市内小学校に通学する児童の内、37.5%が利用登録しています。

＊平成 30 年から令和 4 年の 5 年間の比較では、小学校児童数が減少している中で学童保育所利用児童は、100 名以上増加しています。

	平成30年(2018) 5月1日現在		令和4年(2022) 5月1日現在		児童数増減	
	小学校	学童保育所	小学校	学童保育所	小学校	学童保育所
中主小学校	710	207	623	196	▲ 87	▲ 11
篠原小学校	163	74	176	86	13	12
祇王小学校	543	202	498	189	▲ 45	▲ 13
三上小学校	203	59	178	64	▲ 25	5
野洲小学校	846	257	755	305	▲ 91	48
北野小学校	560	195	692	257	132	62
合　計	3,025	994	2,922	1,097	▲ 103	103
	在籍率	32.9%	⇔	37.5%		4.6%UP



３．市民の権利を守る体制づくり

（１）社協が実施する相談支援事業での取組

利用者や相談者の権利を守り、判断能力が不十分な人が地域で生活をするための支援を行いました。

・地域福祉権利擁護事業
・福祉資金･生活福祉資金貸付事業
・ファミリー･サポート･センター事業
・障がい者相談支援事業
・居宅介護支援事業　　など

（２）虐待・権利侵害の疑いのあるケースの相談・通報

虐待や権利侵害（疑いも含む）について関係機関と連携して対応しました。

≪地域福祉権利擁護事業 3 件、高齢関係 6 件、障がい関係 11 件、児童関係 12 件≫

Ⅲ．分野や立場を超えた支えあいづくり　～多種多様なネットワークの構築～

市民やその世帯が抱える課題が複雑多様化し、単一機関、単一分野だけの支援では対応できません。いわゆる福祉分野の連携はもとより、教育や就労などの多分野連携、医療関係者や法律家などの専門職による同業・異業の多職種連携、市民と市、事業者と社会福祉協議会など、多種多様なネットワークによる支援が求められています。

すべての人が安心して生活を送ることができるよう、分野や立場を超えた支えあいを推進しました。

（１）多機関・多分野との連携〔財源：自主財源〕

地域福祉に必要な基盤整備と必要な福祉サービスの充実、関係機関をつなぐネットワーク化に取り組みました。

地域での支えあいが各地域で広がるよう、さまざまな分野の関係者・企業・団体等と連携し取り組みました。

□地域交流拠点、相談窓口の開設

①アルプラ野洲店との連携「ちょこっと○○相談会」

店舗改装に伴い、地域交流拠点としての活用法について相談を受け、7 月より毎月第 4 金曜日を社協として活用することになりました。

開催時間　14：00～15：00

火曜…ラジオ体操（DVD)→ウエルハピネス体操の指導者を紹介

金曜…相談会・講座→7 月～　毎月第 4 金曜を社協として活用（7/22～）

開催日	内 容	協力団体等
7 月 22 日(金)	手話体験＆ちょこっと相談会	手話サークルともしび 空き家バンク shiga
8 月 26 日(金)	ちょこっと子育て相談会	社協（ファミリー・サポート・センター） 空き家バンク shiga
9 月 23 日(金)	紙芝居 子ども達に元気な笑顔を♡	人形劇サークル　みっくすどーなつ 空き家バンク shiga・介護者家族の会
10 月 28 日(金)	消しゴムハンコで作るポストカード	消しゴムハンコボランティア「心愛」
11 月 25 日(金)	COPD 啓発チラシ配布	ほほえみやす 21 健康プラン推進委員
12 月 23 日(金)	ボランティア紹介	レクすだれ
1 月 27 日(金)	手作り作品展示会	リフォーム同好会・個人ボランティア・地域サロン
2 月 24 日(金)	福祉用具展示相談会	市内企業（ヒューマンケア）
3 月 24 日(金)	わくわくこども遊び＆ファミサポ紹介	社協（ファミリー・サポート・センター） 子育て支援団体

□企業内ボランティア（㈱村田製作所　Team 風の時代）との連携

地域貢献につながる活動をしたいとの相談を受け、社内で実施されたフードドライブで集めていただいた食材を善意銀行で預託を受け、社協で把握している生活困窮者の方にお渡ししました。

□ちゅうず子ども食堂・おすそわけ会

地域のボランティアグループ『アクティブ・サービス』が中心となり地域のつながりづくり・貧困対策を目的として『ちゅうず子ども食堂』『おすそ分け会』を実施されています。

支援を必要とされる世帯がこの状況の中で安心して暮らせているのか、今だからこそ何かできないかと検討され、令和 2 年 6 月より『おすそわけ会』として食糧支援の取り組みを現在も継続されています。ちゅうず子ども食堂も再開し、それぞれ隔月で行われ、必要とされている方に届けられるよう仕組みづくりに社協もともに取り組みました。

	開催日
ちゅうず子ども食堂	11 月 26 日・12 月 16 日・2 月 17 日・3 月 17 日
おすそ分け会	10 月 26 日・12 月 18 日・1 月 26 日・2 月 18 日

□コミュニティスクールへの参画

学校と地域住民が力をあわせて学校の運営に取り組み、「地域とともにある学校づくり・学校を核とした地域づくり」を目指すコミュニティスクールが、次年度から野洲市で本格実施されるにあたり、各学校園で開催された準備会に参画しました。

（２）共同募金を通じた地域福祉の理解促進

共同募金運動等を通じて、市民や事業者などと連携し、地域福祉への理解を広めました。

市広報やす、広報社協やす、チラシ「募金のゆくえとけいかく」による啓発を行い、募金の使い道について紹介することで共同募金は地域福祉の推進のための募金であることの理解促進を図りました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から街頭啓発は中止としました。

□資材の配布・依頼先

自治会・各種団体・事業者・小中高校・企業・市役所

□共同募金委員会　12 月 16 日（金）　場所：北部合同庁舎

・歳末たすけあい募金の配分について

《委員》自治連合会、民生委員児童委員、老人クラブ、赤十字奉仕団、社会福祉課、社会福祉協議会

（３）民生委員・児童委員等、関係機関との連携

民生委員・児童委員等と連携し、支援を必要とする人が地域で安心して暮らせるよう支援しました。相談窓口として市役所や社会福祉協議会へ支援を必要とする方をつないでもらえるよう各種会議での案内やチラシでの紹介による啓発を行いました。

Ⅳ．推進体制の充実・強化

第１次中長期経営計画に基づき、計画の目標に掲げている「組織体制の強化・職員の専門性の向上・経営基盤の確立」を実行するため、役員組織である理事会機能の強化と事務局組織の見直しを図り、本会が取り組むべき新たな福祉課題・生活課題に対応できる法人運営に取り組みました。

１．会務の運営

（１）役員会等の開催

本会の定款に基づき、地域福祉の推進を図るため、正副会長会２回、理事会４回、評議員会３回、監事会１回、評議員選任･解任委員会２回を開催しました。また、本会の経営基盤の強化を図るために設置した経営委員会を１回開催しました。

□正副会長会の開催

開催日／出席数	協　議　事　項
5 月 31 日(火) ◇会長　1 名 ◇副会長 2 名	・令和 3 年度 野洲市社会福祉協議会 事業報告について ・令和 3 年度 野洲市社会福祉協議会 一般会計決算について ・令和 4 年度 野洲市社会福祉協議会 一般会計補正予算第 1 号について ・理事の補充選任に伴う評議員会に提出する理事候補者の選定について ・評議員の補充選任に伴う評議員選任･解任委員会に提出する評議員選任候補者の推薦について ・評議員選任･解任委員会の招集について ・任期満了に伴う評議員選任・解任委員の選任について ・令和 4 年度第 1 回評議員会の招集について
3 月 2 日(木) ◇会長　1 名 ◇副会長 2 名	・令和 4 年度社会福祉法人等指導監査の結果について ・経理規程の別表改正 ・給与表の改正 ・令和 4 年度 野洲市社会福祉協議会 一般会計補正予算第 3 号について ・令和 5 年度 野洲市社会福祉協議会 事業計画について ・令和 5 年度 野洲市社会福祉協議会 一般会計予算について ・育児・介護休業等に関する規程の改正について ・事務局規程の改正について ・役員等賠償責任保険契約の締結および本会の保険料負担について ・令和 4 年度第 3 回評議員会の招集について

□理事会の開催

開催日／出席数	決　議　事　項　/　報　告　事　項
6 月 10 日(金) ◇理事 13 名 ◇監事　2 名	第 1 号　令和 3 年度 野洲市社会福祉協議会 事業報告について 第 2 号　令和 3 年度 野洲市社会福祉協議会 一般会計決算について 第 3 号　令和 4 年度 野洲市社会福祉協議会 一般会計補正予算第 1 号について 第 4 号　理事の補充選任に伴う評議員会に提出する理事候補者の選定について 第 5 号　評議員の補充選任に伴う評議員選任･解任委員会に提出する評議員選任候補者の推薦について 第 6 号　評議員選任･解任委員会の招集について 第 7 号　任期満了に伴う評議員選任・解任委員の選任について 第 8 号　令和 4 年度第 1 回評議員会の招集について

6月29日(水) ◇理事 13名 ◇監事　2名	報告事項　職務執行状況報告 報告事項　第1次中長期経営計画の進捗について 報告事項　第3期野洲市地域福祉基本計画の進捗について 第9号　副会長の選定について 第10号 常務理事の選定について 第11号 経営委員の選任について
12月27日(火) ◇理事 12名 ◇監事　1名	報告事項　職務執行状況報告 第12号 令和4年度 野洲市社会福祉協議会 一般会計補正予算第2号について 第13号 経理規程の改正について 第14号 理事の補充選任に伴う評議員会に提出する理事候補者の選定について 第15号 評議員の補充選任に伴う評議員選任･解任委員会に提出する評議員選任候補者の推薦について 第16号 評議員選任･解任委員会の招集について 第17号 令和4年度第2回評議員会の招集について
3月16日(木) ◇理事 11名 ◇監事　2名	報告事項　令和4年度社会福祉法人等指導監査の結果について 報告事項　経理規程の別表改正 報告事項　給与表の改正 第18号 令和4年度 野洲市社会福祉協議会 一般会計補正予算第3号について 第19号 令和5年度 野洲市社会福祉協議会 事業計画について 第20号 令和5年度 野洲市社会福祉協議会 一般会計予算について 第21号 育児・介護休業等に関する規程の改正について 第22号 事務局規程の改正について 第23号 役員等賠償責任保険契約の締結および本会の保険料負担について 第24号 令和4年度第3回評議員会の招集について

□評議員会の開催

開催日／出席数	決　議　事　項
6月29日(水) ◇評議員 24名 ◇理事　1名 ◇監事　1名	第1号　令和4年度 野洲市社会福祉協議会 事業報告について 第2号　令和4年度 野洲市社会福祉協議会 一般会計決算について 第3号　令和4年度 野洲市社会福祉協議会 一般会計補正予算第1号について 第4号　補充選任に伴う理事の選任について
1月10日(火)決議 ※決議省略により 12月28日提案 ◇評議員 27名	第5号　補充選任に伴う理事の選任について 第6号　令和4年度 野洲市社会福祉協議会 一般会計補正予算第2号について
3月28日(火) ◇評議員 17名 ◇理事　2名	第7号　令和4年度 野洲市社会福祉協議会 一般会計補正予算第3号について 第8号　令和5年度 野洲市社会福祉協議会 事業計画について 第9号　令和5年度 野洲市社会福祉協議会 一般会計予算について

□監事会の開催

開催日／出席数	監　査　事　項
5月26日(木) ◇監事　2名	令和3年度　野洲市社会福祉協議会事業報告について 令和3年度　野洲市社会福祉協議会一般会計決算について

□評議員選任・解任委員会の開催

開催日／出席数	決　議　事　項
6月23日(木) ◇委員5名	評議員の選任について
1月10日(火) ◇委員5名	評議員の選任について

□経営委員会の開催

開催日／出席数	協　議　事　項
1月26日(木) ◇委員5名	(1)令和4年度野洲市社会福祉協議会の運営状況について (2)居宅介護支援事業所の運営について

（２）組織運営の充実強化

□第1次中長期経営計画推進会議

計画策定時に組織したプロジェクトチームにより計画を推進するため、進捗状況の確認と課題について協議する会議（年4回）を行いました。また、ＰＤＣＡサイクルに基づき進行管理を行いました。

開催日	主 な 内 容	出席数
6月23日(木)	『財政収支バランスの適正化について』 各部門での進捗状況について 等	13名
9月22日(木)	『財政収支バランスの適正化について』 各部門での進捗状況について 等	14名
12月22日(木)	『今後の事業報告のあり方について』 各部門での進捗状況について 等	14名
3月23日(木)	『第2次中長期経営計画の策定に向けて』 各部門での進捗状況について 等	13名

□第３期地域福祉基本計画推進会議

計画を推進するため、進捗状況の確認と課題について協議、事業の進捗管理を行いました。

開催日	主 な 内 容	出席数
5 月 11 日(水)	第 3 期地域福祉基本計画の推進・進捗管理について 令和 3 年度第 3 期地域福祉基本計画推進委員会の報告	14 名
8 月 3 日(水)	令和 4 年度第 3 期地域福祉基本計画推進委員会の報告 令和 4 年度中間報告の内容について	14 名
11 月 2 日(水)	令和 4 年度第 3 期地域福祉基本計画推進委員会事務局会議報告 令和 4 年度第 2 回推進委員会（R5.2）に向けて報告事項確認	13 名
2 月 1 日(水)	第 3 期野洲市地域福祉基本計画推進委員会　社協報告資料 令和 4 年度社協中間報告（R4.12 月末日現在）の確認 進捗状況、次年度への取組と事業計画との位置づけについて	14 名

□運営会議

本会の運営方針や重要施策の計画決定等に関する協議を行うため、会長、事務局長、課長、課長補佐により毎月 1 回(12 回)開催しました。

（３）会員制度の普及促進

本会が行う地域に向けた様々な福祉事業の貴重な財源として、市民、企業、各種団体等から会費のご協力をいただきました。ご協力いただいた会費は、住民の皆様に還元できるよう活用しました。

区　分	令和 4 年度	令和 3 年度
一 般 会 費	8,106,250 円	8,035,756 円
特 別 会 費	681,000 円	691,500 円
賛 助 会 費	585,000 円	560,000 円
計	9,372,250 円	9,287,256 円

（４）研修システムの体系化

体系的な職員研修計画を作成し、計画に基づいた研修を実施しました。

□職員研修

開催日	研　修　内　容	参加数
9 月 17 日(水)	視聴覚教材による研修（人権研修） 部落の心を伝えたい「12 年後の決断　～吉岡　綾～」	23 名
12 月 8 日(木) 9 日(金)	視聴覚教材による研修（人権研修） お互いを活かしあうための人権シリーズ⑥ 小さな歩みを見つけよう」	8 名 11 名
12 月 22 日(木) 26 日(月)	「接遇対応＆コミュニケーション研修」（接遇研修）	15 名 10 名

□職員研修(外部)

開催日	研　修　内　容	参加数
5月11日(水)	びわこ南部地域人権啓発連続講座（285回）	1名
5月14日(土)	部落解放・人権政策確立要求びわこ南部地域実行委員会第32回定期総会	1名
5月25日(水) 6月 2日(木) 10日(金)	滋賀の福祉人研修　新任期	3名 3名 3名
6月 6日(月)	事業所内公正採用選考・人権啓発基礎研修会	14名
7月13日(水)	びわこ南部地域人権啓発連続講座（286回）	2名
7月17日(日)	全国社協職員のつどい（オンライン）	2名
7月19日(火)	事業所内公正選考採用・企業内同和問題基礎研修会	14名
8月 1日(月)	社会福祉協議会新任職員研修（市町社協会長会・県社協主催）	2名
8月10日(水) 19日(金)	キャリアデザイン研修　新任期	2名 2名
8月29日(月)	第1回人権啓発担当者研修会	1名
9月14日(水)	びわこ南部地域人権啓発連続講座（287回）	1名
10月 3日(月)	第1回人権啓発担当者交流会	1名
10月12日(水) 26日(水)	ひきこもり支援のための研修会(2日間コース)	1名
10月31日(月)	令和4年度　コミュニティワーク基礎研修	2名
11月16日(水)	びわこ南部地域人権啓発連続講座（288回）	1名
12月16日(金)	社会福祉協議会新任職員研修・接遇研修	4名
12月19日(月)	生活支援体制整備事業 第1回生活支援コーディネーター学習・情報交換会	2名
12月20日(火)	第2回人権啓発担当者研修	1名
1月11日(水)	びわこ南部地域人権啓発連続講座（289回）	1名
1月27日(金)	事業所内公正選考・人権啓発担当者等研修会	1名
2月18日(土)	部落解放研究第30回滋賀県集会	1名
2月18日(土)	第18回　野洲市人権尊重をめざす市民のつどい	1名

□野洲市への在籍型出向

出　向　先	出向人数
こども課	1名

（５）人事管理制度の実施

今年度は管理職を対象に目標管理制度を実施、一般職を対象に試行とういことで取組みました。また、管理職を対象にマネジメント力の向上を目的に勉強会を実施しました。

□人事管理制度について勉強会の実施

開催日	研　修　内　容	対象者	人数
12 月 21 日(水)	「マネジメントの基本的理解１」	管理職	13 名
1 月 19 日(木)	「マネジメントの基本的理解２」	管理職	13 名
2 月 16 日(木)	「マネジメントの基本的理解３」	管理職	13 名

（６）財政の健全化に向けた取組

担当者が事業毎の収支状況を把握しやすくなるよう会計区分の見直しを行い、それぞれの財源を有効に活用できるよう整理しました。

また、全ての役職員が高いコスト意識を持ち、費用対効果の視点に立って行動できるよう問題意識の共有図りました。

・月毎の収支状況の把握、分析、情報共有
・事業別計画および予算見積書の作成・取りまとめ
・社協活動財源（会費及び寄付金など）の確保に向けた取組